

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 豊かな人間性をはぐくむ体制づくり

事業番号	196	197
事業名	教育の北九州方式の実現	体験活動を重視した学校 (ひらおだい四季の丘小学校)との連携
事業概要	教育の北九州方式検討会議からの答申に基づき、地域コミュニティの力で子どもたちの成長を支えていくシステムとして「地域とともに歩む学校」と新しいスタイルの学校を設立するものとして「北九州市をリードする学校」について、具体的な施策を計画・立案する。	国の構造改革特別区域制度を活用して18年度に開校した私立ひらおだい四季の丘小学校は、教科学習の一部を体験活動を通して学ぶという特長をもった学校である。また、この学校で得られた成果は、広く市立小学校に紹介し実践するなど、体験活動の充実に資することが期待される。このため、ひらおだい四季の丘小学校との連携を推進していく。
指標	—	私立小学校設立
初期値 (計画策定時)	—	16年度: 支援実施
目標値	—	18年度までに開校
21年度 実績値	—	—
達成状況 (17~21年度)	—	目標値達成(18年度:開校)
21年度 実施状況等	<p>■18年4月、教育改革特区を活用した私立ひらおだい四季の丘小学校、私立仰星学園高等学校、私立日本ウェルネススポーツ専門学校北九州校が開校</p> <p>■児童・生徒数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひらおだい: 12名(平成21年5月1日現在) ・仰星学園: 168名(平成21年5月1日現在) ・ウェルネススポーツ: 16名(平成21年5月1日現在) 	<p>【参考】</p> <p>■平成18年4月、教育改革特区を活用した私立ひらおだい四季の丘小学校が開校</p> <p>■児童数: 12名(平成21年5月1日現在)</p> <p>※平成21年4月1日付けで「北九州子どもの村小学校」に校名変更</p>
「元気発進!子どもプラン」における位置づけ	—	—
「元気発進!子どもプラン」における事業名	教育プラン 「教育特区を活用して設立された学校との連携」に統合	教育プラン 「教育特区を活用して設立された学校との連携」に統合
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・企画課	教育委員会・企画課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 豊かな人間性をはぐくむ体制づくり

事業番号	198	199
事業名	北九州中央高等学園における職業教育の充実	少人数・習熟度別指導の推進
事業概要	特別支援学校(知的障害)高等部への進学希望者の増加傾向に対応し、軽度の知的障害のある生徒に対して、職業教育を重視した教育を行うことにより、北九州市民としての自覚をもった自立する職業人の育成を目指す。	市立小中学校における北九州市の特色ある教育を推進するため、国による少人数指導の教員配置に加え、市単費で非常勤講師を配置し、教科等において習熟の程度に応じた指導を行うなど、少人数による指導を推進する。
指標	-	-
初期値 (計画策定時)	-	-
目標値	-	-
21年度 実績値	-	-
達成状況 (17~21年度)	-	-
21年度 実施状況等	<ul style="list-style-type: none"> ■平成19年4月1日北九州中央高等学園開校。 ■教職員の指導力向上のため企業関係者等を就労支援専門家として派遣。 	<ul style="list-style-type: none"> ■平成18年度から、No.340「学校支援のための市費講師配置事業」に統合。
「元気発進！子どもプラン」における位置づけ	-	-
「元気発進！子どもプラン」における事業名	-	-
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・特別支援教育課	教育委員会・教職員課、指導第一課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 豊かな人間性をはぐくむ体制づくり

事業番号	200	201
事業名	基礎・基本の定着度の測定	学力向上推進事業
事業概要	児童生徒一人一人の課題や学力向上にかかわる施策の効果について明らかにし、各学校の指導方法の工夫・改善を行うため、観点別到達度学力検査の充実を図る。	市内全域を学力向上推進地域とし、各学校において「学力向上プラン」を策定し、実践的な取り組みを行う。また、「学力向上推進事業指定校」を指定し、児童生徒一人一人の個に応じた指導方法や指導体制の工夫・改善に関する実践研究を行う。
指標	実施学年・教科	—
初期値 (計画策定時)	平成16年度：小2、4、6の国・算、中2、3の国・数・英	—
目標値	平成18年度までに小2、4、6の国・算、中1の国・算、中2、3の国・数・英を実施	—
21年度実績値	平成21年度： 小2、4の国・算、中1の国・算、中2の国・数・英	—
達成状況 (17～21年度)	平成19年度より小6・中3を対象に全国学力テストが実施されたため、上記のとおりの実績値となっている。その他は、目標達成。	—
21年度実施状況等	<ul style="list-style-type: none"> ■小学校2・4年生：国語、算数 ■中学校1年生：国語、算数 ■中学校2年生：国語、数学、英語 ■希望特別支援学校：各該当学年について、観点別到達度学力検査を実施。 ■報告書は、国の学力、学習状況調査との合本として作成し、1月に配布。 	<ul style="list-style-type: none"> ■全校において「学力向上プラン」を作成・実施。 ■学力向上ステップアップ事業推進指定校として小学校(6校)、中学校(4校)を指定し、3年間の研究を実施。 ■各指定校年1回、実践交流会を開催。
「元気発進！子どもプラン」における位置づけ	—	—
「元気発進！子どもプラン」における事業名	教育プラン 「北九州スタンダードの推進」に統合	教育プラン 「北九州スタンダードの推進」に統合
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・指導第一課	教育委員会・指導第一課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 豊かな人間性をはぐくむ体制づくり

事業番号	202	203
事業名	教員の学校間兼務の推進(ティーチャーズネット)	幼保小連携事業
事業概要	小中学校の多様な教育活動を支援し、教員の専門性や知識、経験を生かし、きめ細かな指導を行うため、中学校における免許外教科担任の解消及び小学校における専科指導の充実のため教員の学校間兼務を推進する。	乳幼児から小学校卒業までの継続的な教育を推進するため、小学校を核として、幼稚園、保育所、小学校の連携に取り組むとともに、教職員の合同研修や乳幼児・児童、教職員相互の交流活動を実施する。また、幼保小連携のためのカリキュラムづくりなど、より効果的な連携のあり方を検討し、幼保小連携の市内全域への拡充を図る。
指標	—	実施箇所
初期値 (計画策定時)	—	—
目標値	—	21年度までに全幼稚園・保育所で実施
21年度実績値	—	21年度実績値:86.6% (保育所・幼稚園・小学校における連携の割合)
達成状況 (17~21年度)	—	86.6%(保育所・幼稚園・小学校における連携の割合)
21年度実施状況等	■兼務内容 ・中学校間兼務 計 0校 ・小中学校間兼務 音楽 3校 保健体育 4校 英語 1校 美術 1校 計 9校	■市内の保育所・幼稚園・小学校を対象にアンケート調査を行い、連携の現状と課題を把握した。 ■保育所・幼稚園の合同研修を開催し、保育所と幼稚園の情報交換の促進を図った。 ■保育所児童保育要録や幼稚園幼児指導要録の作成・活用を徹底するように保育所・幼稚園・小学校に指導し、幼児教育から小学校教育への情報伝達の充実を図った。
「元気発進！子どもプラン」における位置づけ	—	政策分野3-(1) 就学前教育
「元気発進！子どもプラン」における事業名	—	保育所・幼稚園・小学校の連携
備考 (特記事項)		平成21年度策定の北九州市子どもの未来をひらく教育プランの中で、平成25年度の目標値として「保幼小連携事業を実施する保育所、幼稚園、小学校の割合を95.0%にする」と設定している
担当(課)	教育委員会・教職員課	子ども家庭局・保育課 教育委員会・企画課、指導第一課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 豊かな人間性をはぐくむ体制づくり

事業番号	204	205
事業名	北九州 放課後教室	北九州 夏の教室
事業概要	学習機会の拡充や学習した内容の確実な定着を図るため、市立の全小中学校において、希望する児童生徒を対象に放課後教室を実施する。	学習意欲の向上や個性の伸長をサポートするとともに、家庭における学習習慣づくりのため、夏季休業日中にすべての市立小・中・特別支援学校において、希望する児童生徒を対象に一週間程度夏の教室を開設する。
指標	—	—
初期値 (計画策定時)	—	—
目標値	—	—
21年度 実績値	—	—
達成状況 (17～21年度)	—	—
21年度 実施状況等	<p>■平成18年度から、No.340「学校支援のための市費講師配置事業」に統合。</p>	<p>■夏の教室参加率</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校:82.3% ・中学校:43.1% ・特別支援学校:83.4% <p>中学校は、やや減少しているが、小学校・特別支援学校は増加している。</p>
「元気発進！子どもプラン」における位置づけ	—	—
「元気発進！子どもプラン」における事業名	—	—
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・指導第二課	教育委員会・指導第一課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 豊かな人間性をはぐくむ体制づくり

事業番号	206	207
事業名	子どもの読書活動の推進	「10分間読書」の推進
事業概要	「子どもの読書活動の推進に関する法律」が施行されたのを受け、北九州市子ども読書活動推進計画を策定し、すべての子どもがあらゆる機会と場所において自主的に読書活動を行うことができる環境の整備に努める。	すべての市立小・中学校において、子どもたちに読書の楽しさ、すばらしさを体験させ、読書の習慣を身に付けさせるため、「10分間読書」を推進する。
指標	実施事業数	—
初期値 (計画策定時)	17年度:59事業	—
目標値	22年度までに72事業実施	—
21年度 実績値	21年度:64事業	—
達成状況 (17～21年度)	64事業(21年度末時点)	—
21年度 実施状況等	<ul style="list-style-type: none"> ■子ども読書の日啓発に、本のしおりを配布(小学新1年生)。 ■「子どもの読書活動推進フォーラム」を開催。 ■「子ども読書の日」前後に、各図書館において、おはなし会や絵本の展示等を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ■「10分間読書」の全校実施。 ■小・中学校ともに100%実施。
「元気発進！子どもプラン」における位置づけ	政策分野3-(4) 家庭の教育力の向上	—
「元気発進！子どもプラン」における事業名	子どもの読書活動の推進	教育プラン 「子どもの読書活動の推進」に統合
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・生涯学習課、中央図書館、指導第一課 学事課、施設課	教育委員会・指導第一課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 豊かな人間性をはぐくむ体制づくり

事業番号	208	209
事業名	「総合的な学習の時間」の推進	特別非常勤講師制度の活用
事業概要	本市の特色でもある環境や福祉などに関する課題や社会との関わりを深める活動をはじめ、英会話体験活動やコンピュータ学習などを通して、子どもたちに21世紀を切り拓く問題解決力を育成する。	多様化する学校教育への対応とその活性化を図るため、地域の人材や多様な専門分野の優れた社会人を特別非常勤講師として市立小中学校に配置し、各教科、道徳の時間、総合的な学習の時間などで子どもたちを指導する。
指標	-	-
初期値 (計画策定時)	-	-
目標値	-	-
21年度 実績値	-	-
達成状況 (17～21年度)	-	-
21年度 実施状況等	<p>■平成20年度事業終了</p>	<p>■21年度:56校、69名を1,215時間配置。 ■11～21年度までの通算:約469校15,460時間配置。</p>
「元気発進!子どもプラン」における位置づけ	-	-
「元気発進!子どもプラン」における事業名	-	-
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・指導第一課	教育委員会・教職員課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 豊かな人間性をはぐくむ体制づくり

事業番号	210	211
事業名	キャリア・アドバイザー活用事業	中学生芸術鑑賞教室
事業概要	北九州マイスター・北九州技の達人をはじめ地域で活躍するさまざまな技術をもった達人を派遣し、生徒に将来の生き方や進路を考える機会を提供する。さらに、本市において培われてきた産業技術を学ぶことで、郷土愛や豊かな心をはぐくむ(～H18)。	思春期の最も感受性の豊かな中学生に芸術性の高い演劇、音楽、美術等を鑑賞させることによって、芸術を身近に感じさせるとともに、豊かな情操の育成を図る。
指標	-	-
初期値 (計画策定時)	-	-
目標値	-	-
21年度 実績値	-	-
達成状況 (17～21年度)	-	-
21年度 実施状況等	<ul style="list-style-type: none"> ■「北九州マイスター」「北九州技の達人」その他講師による技能伝承事業を併行実施。 ■市内全中学校63校において計画どおり実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ■「中学生舞台芸術鑑賞教室」、「中学生音楽鑑賞教室A」、「中学生音楽鑑賞教室B」、「中学生美術鑑賞教室」を実施。 ・参加者数:5,223人(生徒4,837人)
「元気発進！子どもプラン」における位置づけ	-	-
「元気発進！子どもプラン」における事業名	教育プラン 「発達段階に応じたキャリア教育の展開」	教育プラン 「心の教育推進事業」に統合
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・指導第一課	教育委員会・指導第一課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 豊かな人間性をはぐくむ体制づくり

事業番号	212	213
事業名	「小さな国際人」育成事業	「英語が話せる中学生」育成事業
事業概要	すべての市立小学校5・6学年を対象に、外国語指導助手(ALT)を活用した外国語活動を実施し、小学校段階から国際理解を深めるとともに英語に慣れ親しむ機会を提供する。	市立全中学校にALTを配置し、その効果的な活用を通して、中学生の実践的コミュニケーション能力の向上を図る。
指標	-	ALTを活用した英語教育の回数(各学級)・人数
初期値 (計画策定時)	-	15年度:中1・2年…月2回、中3年…月1回 27名
目標値	-	21年度までに中1～3年に月2回英語教育実施、人数38名
21年度 実績値	-	中学校各学級月2回 39名(市立高校1名を含む)
達成状況 (17～21年度)	-	21年度目標値達成
21年度 実施状況等	■市内全小学校5、6年生、各学級にて年間に35時間程度、外国語活動を実施。	■全学年、月に2回、外国語指導助手と英語科教員との協同授業を実施(ALT38人)。
「元気発進!子どもプラン」における位置づけ	-	-
「元気発進!子どもプラン」における事業名	教育プラン 「英語教育の充実」に統合	教育プラン 「英語教育の充実」に統合
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・指導第一課	教育委員会・指導第一課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 豊かな人間性をはぐくむ体制づくり

事業番号	214	215
事業名	小中連携英語教育プログラムの定着	イングリッシュ・コンテスト北九州
事業概要	児童生徒が英語のコミュニケーション能力を効果的に身に付けることができるよう開発した、小・中学校が連携した北九州市らしい英語教育プログラムを全小中学校にて実践した。	中学生を対象に英語スピーチコンテストを実施し、実践的コミュニケーション能力の向上を図るとともに、教員の指導力向上や自己研鑽につなげる。
指標	-	-
初期値 (計画策定時)	-	-
目標値	-	-
21年度 実績値	-	-
達成状況 (17～21年度)	-	-
21年度 実施状況等	■平成19年度事業終了。	■平成21年10月17日に実施。 ・参加者数 236名
「元気発進！子どもプラン」における位置づけ	-	-
「元気発進！子どもプラン」における事業名	-	教育プラン 「英語教育の充実」に統合
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・指導第一課	教育委員会・指導第一課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 豊かな人間性をはぐくむ体制づくり

事業番号	216	217
事業名	帰国・外国人児童生徒教育推進事業	スポーツ国際交流員招致事業
事業概要	帰国・外国人児童生徒の学校生活への適応の促進や日本語指導等を行うとともに、ふれあい国際交流教室(インターナショナル・キャンプ等)、その他の児童生徒との相互啓発を通して国際理解教育を推進する。	「語学指導等を行う外国青年招致事業」の一環として実施するスポーツ国際交流員を地域に派遣し、国際交流を推進するとともに本市小・中学校の児童生徒のサッカー技術の向上と指導者の養成を行い、スポーツの振興を図る。
指標	-	サッカー技術の向上校数(派遣校の拡大)
初期値 (計画策定時)	-	16年度:延べ12校
目標値	-	21年度までに延べ16校で実施
21年度 実績値	-	-
達成状況 (17~21年度)	-	延べ30校で実施(平成18年度実績)
21年度 実施状況等	<ul style="list-style-type: none"> ■国際化推進センター校:4校 ■帰国・外国人児童生徒の受入れ体制の一層の充実 	■平成19年8月事業終了
「元気発進!子どもプラン」における位置づけ	-	-
「元気発進!子どもプラン」における事業名	教育プラン 「国際理解教育の推進」に統合	-
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・指導第一課	企画文化・スポーツ振興課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 豊かな人間性をはぐくむ体制づくり

事業番号	218	219
事業名	「コンピュータが使える小学生」育成事業	パソコン整備
事業概要	<p>情報化推進員をすべての市立小、特別支援学校小学部に配置し、教員と共同でコンピュータを活用した授業を行う中で、小学生がコンピュータ操作やインターネット利用ができるようにするとともに、教員の指導力の向上を図る。すべての市立小学校・特別支援学校小学部で情報化推進員を活用し、教員と共同でコンピュータを活用した授業を行い、児童の発達段階に応じたコンピュータ操作や活用能力の育成に努める。</p>	<p>すべての市立小・中・特別支援学校のコンピュータ教室に設置されているパソコンの更新とともに、普通教室及び特別教室のパソコン(通信回線、通信環境整備、学習用ソフトウェアを含む)を整備する(～H18)。</p>
指標	-	整備率
初期値 (計画策定時)	-	16年度:48%
目標値	-	18年度までに整備率100%
21年度実績値	-	-
達成状況 (17～21年度)	-	目標値であった平成18年度までに整備率100%達成
21年度実施状況等	<p>■17名の情報化推進員を原則週1回の割合で配置。 ■6年生児童のコンピュータ基本操作能力は、97%を超えている。 ■21年度事業終了</p>	<p>■平成18年度事業終了 (参考:18年度実績) パソコン整備更新校数 ・小学校:37校 ・中学校:13校 ・特別支援学校:4校</p>
「元気発進!子どもプラン」における位置づけ	-	-
「元気発進!子どもプラン」における事業名	-	-
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・指導第一課	教育委員会・学事課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 豊かな人間性をはぐくむ体制づくり

事業番号	220	221
事業名	ジュニア・サマースクール北九州	理科大好きスクール
事業概要	本市の特色を生かし、児童生徒の探究心や創造力を高め、自ら進んで学習する習慣が身に付き、主体的に学ぶ楽しさが味わえる講座を開設する。	市立小・中学校から7校を指定し、学校だけでなく地域や大学、博物館等の関係機関と連携し、観察・実験、野外活動等を積極的に取り入れた活動を実施することにより、子どもたちの理科への興味を引き出す授業づくりを推進する(～H17)。
指標	-	-
初期値 (計画策定時)	-	-
目標値	-	-
21年度 実績値	-	-
達成状況 (17～21年度)	-	-
21年度 実施状況等	<p>■18年度事業終了</p> <p>(参考:18年度実績)</p> <p>コース数を削減し、内容の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コース数:2コース ・参加者定員:100名 ・参加者:98名 	<p>■平成17年度事業終了</p>
「元気発進!子どもプラン」における位置づけ	-	-
「元気発進!子どもプラン」における事業名	-	-
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・指導第一課	教育委員会・指導第一課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 豊かな人間性をはぐくむ体制づくり

事業番号	222	223
事業名	環境教育推進事業	環境首都！目指せわが街わが校の環境作戦
事業概要	<p>環境に対する認識を深め、よりよい環境の創造や保全のために主体的に取り組む態度、能力を育成する。そのため、市立幼稚園・小・中・特別支援学校を対象に、環境ミュージアムやエコタウンなどの環境関連施設で体験的な学習(北九州エコツアー)を行う。また、環境教育推進校を指定し、環境学習プログラムの編成や教材開発を行う(~H22)。</p>	<p>子供たちの環境に対する認識を深め、環境保全のための主体的、実践的な態度、能力を育成し、体験的な活動を実施する。また、「環境首都 子どもサミット」を開催する。</p>
指標	-	-
初期値 (計画策定時)	-	-
目標値	-	-
21年度 実績値	-	-
達成状況 (17~21年度)	-	-
21年度 実施状況等	<p>■エコツアー： 小学校44校、中学校11校、特別支援学校1校、幼稚園4園実施。 ■推進校：各校の計画に従って実施。 ■全校環境教育推進事業：各校の実践をまとめ、各校のホームページに掲載。 ■「環境首都！こどもサミット」開催 (参加者：622名)</p>	<p>■平成18年度から、No.222「環境教育推進事業」と統合</p>
「元気発進！子どもプラン」における位置づけ	<p>政策分野3-(2) 青少年の健全育成</p>	-
「元気発進！子どもプラン」における事業名	<p>環境教育推進事業</p>	-
備考 (特記事項)		
担当(課)	<p>教育委員会・指導第一課</p>	<p>教育委員会・指導第一課</p>

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 豊かな人間性をはぐくむ体制づくり

事業番号	224	225
事業名	こども環境学習推進事業	心に響く道徳教育推進事業
事業概要	子どもたちが、地域の中で自主的に環境活動を行うことを支援する「こどもエコクラブ」事業を実施する。あわせて、子どもたちの環境学習の推進のため、環境教育副読本を配布し、環境ミュージアムなどの利用により、子ども環境学習を推進する。	道徳教育の充実のため、豊かな体験活動を通して、子どもたちの内面に根ざした道徳性を養う。そのため、2中学校区を指定し、小中学校間の道徳教育の連続性・一貫性を図る(20～22)。
指標	-	-
初期値 (計画策定時)	-	-
目標値	-	-
21年度 実績値	-	-
達成状況 (17～21年度)	-	-
21年度 実施状況等	<ul style="list-style-type: none"> ■ 宿泊交流会: 32名参加 ■ 環境の日、エコスタイルタウンに「新聞紙でエコバッグ作り」を出展 ■ 12月、壁新聞の作り方教室を実施 ■ 会員数: 3,276名 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2中学校区を指定し、実施。 富野中学校区(富野中、富野小、桜丘小)及び早鞆中学校区(早鞆中、田野浦小、港が丘小)でそれぞれ研究発表会等を開催した。
「元気発進!子どもプラン」における位置づけ	政策分野3-(2) 青少年の健全育成	-
「元気発進!子どもプラン」における事業名	こども環境学習推進事業	教育プラン 「心の教育推進事業」に統合
備考 (特記事項)		
担当(課)	環境局・環境学習課	教育委員会・指導第一課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 豊かな人間性をはぐくむ体制づくり

事業番号	226	227
事業名	伝統文化体験事業	武道教育の推進
事業概要	市内の小学校において、古くから伝わる日本文化、伝統に親しませる活動を通じて、礼儀作法や自らを律する心などの基礎を培う。	基本的な技能の習得と武道における礼儀・作法などの行動の仕方、相手を思いやる心を育成するため、市立中学校において武道教育を推進する。
指標	—	実施学校数
初期値 (計画策定時)	—	16年度:48校
目標値	—	21年度までに全中学校で実施
21年度 実績値	—	52校
達成状況 (17~21年度)	—	中学校63校中、52校で実施
21年度 実施状況等	<p>■9校(小森江東小、田野浦小、藍島小、泉台小、湯川小、八幡小、大原小、黒畑小、竹末小)を指定し、2カ年計画で継続的に実施。</p>	<p>■教科学習として実施。(中学校63校中52校実施) ■教科等研究で、小倉南区で剣道の授業公開を実施。</p>
「元気発進!子どもプラン」における位置づけ	—	—
「元気発進!子どもプラン」における事業名	教育プラン 「心の教育推進事業」に統合	教育プラン 武道教育の推進
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・指導第一課	教育委員会・指導第一課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 豊かな人間性をはぐくむ体制づくり

事業番号	228	229
事業名	人権教育の推進	男女共同参画社会の実現に向けた教育の推進
事業概要	本市人権教育の6つの視点に基づき、幼児・児童・生徒の発達段階に即し、人権教育資料等を効果的に活用しながら、系統的な人権教育を推進する。	すべての市立小・中・特別支援学校において「男女の平等に関する指導の手引」「男女共同参画社会に関する副読本」を活用し、男女共同参画の意識の高揚と実践的態度を育成する。
指標	—	—
初期値 (計画策定時)	—	—
目標値	—	—
21年度 実績値	—	—
達成状況 (17～21年度)	—	—
21年度 実施状況等	■「人権教育ハンドブック」の配布及び校内研修等での活用促進。	■副読本の改訂版が作成され、積極的な活用が図られた。全小・中・特別支援学校のほぼ90%で活用が行われている。
「元気発進！子どもプラン」における位置づけ	—	—
「元気発進！子どもプラン」における事業名	教育プラン 人権教育推進事業(資料等を活用した人権教育の実践)	教育プラン 人権教育推進事業(資料等を活用した人権教育の実践)に統合
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・指導第二課	教育委員会・指導第一課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 豊かな人間性をはぐくむ体制づくり

事業番号	230	231
事業名	健康教育の推進	性教育の充実
事業概要	生きる力の基盤としての食と健康や体力の向上等に関する知識を学校教育全体を通して身に付けさせ、生涯を通じて健康で安全な生活を送るため適切に行動できる実践的な能力の育成を図る。	性に関する正しい知識を身に付けさせ性差を十分に理解して互いに尊重し合う態度を育成するとともにエイズ、性感染症、性情報への対処等、性に関する諸問題に対して適切な意思決定や行動選択ができるようにする。
指標	-	-
初期値 (計画策定時)	-	-
目標値	-	-
21年度 実績値	-	-
達成状況 (17～21年度)	-	-
21年度 実施状況等	<p>■学校保健委員会開催校:142校(全204校/小131校、中63校、特支9校、高1校)</p>	<p>■各学校において実施中。 ■「性教育の手引き」の検討。</p>
「元気発進！子どもプラン」における位置づけ	-	-
「元気発進！子どもプラン」における事業名	-	-
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・指導第一課	教育委員会・指導第一課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 豊かな人間性をはぐくむ体制づくり

事業番号	232	233
事業名	安全教育の充実	児童生徒の健康診断の実施
事業概要	日常生活における安全確保のために必要な事項を実践的に理解し、自他の生命尊重を基盤として、進んで安全で安心な社会づくりに参加し、貢献できる資質や能力を培う。	就学時及び毎年定期的に、個人及び集団の健康状態の把握を行うとともに、疾病異常が認められる者について、治療の勧告や学校生活についての指導を行うなど、児童生徒等の健康の保持増進を図り、生涯にわたって健康な生活を送るために必要な能力や態度を養う。
指標	—	—
初期値 (計画策定時)	—	—
目標値	—	—
21年度 実績値	—	—
達成状況 (17～21年度)	—	—
21年度 実施状況等	<ul style="list-style-type: none"> ■通学路安全マップを全校で作成。 ■204校で防犯教室やセーフティ教室を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ■根拠法に基づき健康診断を実施しており、医学的見地から個人及び集団の健康状態を把握し、評価を行なうとともに、発育発達や疾病異常に関して健康づくりの問題点や課題を明確にし、児童生徒の健康の保持増進を図っている。 ■定期健康診断:全学校(園)で実施。 ■就学時健康診断:全市立小学校で実施。
「元気発進!子どもプラン」における位置づけ	—	—
「元気発進!子どもプラン」における事業名	教育プラン 安全教育の推進	教育プラン 「食育を通じた児童生徒の肥満・痩身対策事業」に統合
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・指導第二課	教育委員会・学校保健課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 豊かな人間性をはぐくむ体制づくり

事業番号	234	235
事業名	部活動外部講師の活用	複数校合同による部活動の推進
事業概要	部活動における生徒の多様なニーズに広く応えらるとともに、専門的な技術指導を教員の補助として行うため、外部講師を活用する。これにより生徒が自分の個性や能力を伸ばしつつ、集中力、忍耐力等の育成や体力の向上を図る。	単一の中学校の生徒及び職員では部を存続し難い、または、活動の成果が十分に期待できないなどの問題が生じているため、学校間の連携・協力のもと、複数校合同で部活動を実施し問題の解決を図る。
指標	-	-
初期値 (計画策定時)	-	-
目標値	-	-
21年度 実績値	-	-
達成状況 (17～21年度)	-	-
21年度 実施状況等	■部活動の外部講師215名(運動部174名・文化部41名)を承認(H22.3.31現在)。	■4組(8校)が希望して実施。
「元気発進！子どもプラン」における位置づけ	-	-
「元気発進！子どもプラン」における事業名	教育プラン 「部活動振興事業」に統合	教育プラン 「部活動振興事業」に統合
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・指導第二課	教育委員会・指導第二課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 豊かな人間性をはぐくむ体制づくり

事業番号	236	237
事業名	学校予算の配分・執行のあり方の見直し	学校事務の共同実施
事業概要	市立幼・小・中・特別支援学校の教育計画や学校運営の実態に応じた効率的・弾力的な予算執行を目的として、各学校の要望を反映させた予算調整を推進し、経費の執行についても、学校長の権限拡大などを検討する。	学校における業務の負担軽減を行うとともに事務の効率的な処理と事務機能の強化を図るため、学校事務の共同実施の方策について検討する。
指標	—	—
初期値 (計画策定時)	—	—
目標値	—	—
21年度 実績値	—	—
達成状況 (17～21年度)	—	—
21年度 実施状況等	<ul style="list-style-type: none"> ■ 予算調整の実施。 ■ 学校経営改革自主事業の支援実施。 ■ 年4回の予算流用。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市内36グループのうち、10グループで1年間の試行実施を行い、課題の改善策等の協議を行った。
「元気発進！子どもプラン」における位置づけ	—	—
「元気発進！子どもプラン」における事業名	教育プラン 「未来をひらく学校づくり支援事業」に統合	教育プラン 学校における事務処理の効率化・負担の軽減
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・学事課	教育委員会・教職員課、学事課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 豊かな人間性をはぐくむ体制づくり

事業番号	238	239
事業名	カリキュラムセンター機能の充実	学校間あったか交流事業
事業概要	教育センターの「カリキュラムセンター」としての機能を強化し、積極的に市立学校を支援することにより、学校の教育課程や具体的な指導上の諸課題解決支援、教職員・児童生徒・保護者への情報提供、相談等を行う。	資源の有効活用、学校予算の効率的執行を図るため、市立学校間において教材教具や特色ある取組等について、学校間情報ネットワークシステムによる、効果的・効率的な情報提供を推進する。
指標	-	-
初期値 (計画策定時)	-	-
目標値	-	-
21年度 実績値	-	-
達成状況 (17～21年度)	-	-
21年度 実施状況等	<ul style="list-style-type: none"> ■ 支援・相談件数: 2,022件 ■ 自主研修の場の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 年2回の情報誌の発行から、H20年度より、desknet's内の「あったか情報」電子会議室での情報交換に移行した。 ■ 学校間の物品リサイクルや各学校の運営に役立つ情報交換を促進し、活発かつ効率的な学校運営に一役買っている。
「元気発進！子どもプラン」における位置づけ	-	-
「元気発進！子どもプラン」における事業名	教育プラン カリキュラムセンター機能の充実(調査研究等)	-
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・教育センター	教育委員会・学事課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 豊かな人間性をはぐくむ体制づくり

事業番号	240	241
事業名	教員の評価制度の確立	優秀な教員の表彰制度
事業概要	公務員制度改革の動向を見据えた調査研究の成果を踏まえ、教員の能力や実績等を適正に評価し、それを配置や処遇等に適切に結びつける能力開発型の評価制度を平成18年度から導入する。これにより、教員が資質能力を向上させながら、それを最大限に発揮し、学校運営に積極的に参画する仕組みを構築し、さらなる学校教育の充実を図る。	優れた教育活動を実践している教員を適性に評価し、個々の教員の意欲や努力に報いるとともに、その資質を向上させることを目的とした、優秀な教員の表彰を毎年度着実に実施する。
指標	-	-
初期値 (計画策定時)	-	-
目標値	-	-
21年度 実績値	-	-
達成状況 (17～21年度)	-	-
21年度 実施状況等	<p>■平成18年度事業終了。</p> <p>(参考:18年度実績) 本格実施。 ・新任者研修:1回 ・評価者訓練の実施:3回</p>	<p>■表彰式実施:7月 ■表彰者:40名 (うち特別表彰者5名)</p>
「元気発進!子どもプラン」における位置づけ	-	-
「元気発進!子どもプラン」における事業名	-	-
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・教職員課	教育委員会・教職員課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 豊かな人間性をはぐくむ体制づくり

事業番号	242	243
事業名	教職員研修の充実	指導力不足教員等の人事管理システム
事業概要	<p>社会の変化に伴う新たな教育に対応して、教職員の資質の向上、指導力の向上を図るため、基本的な研修に加え、カウンセリング、情報教育、学校経営など専門研修を充実する。</p>	<p>教員の指導力や校長、教頭の管理能力を調査、判定し、その結果に応じて「長期特別研修」「管理職特別研修」「指導力向上研修」等を実施し、教員の資質向上を図る人事管理システムを推進する。</p>
指標	-	-
初期値 (計画策定時)	-	-
目標値	-	-
21年度 実績値	-	-
達成状況 (17～21年度)	-	-
21年度 実施状況等	<p>■99講座347研修を実施</p>	<p>■長期特別研修の実施 ■管理職特別研修の実施 ■指導力向上研修の実施</p>
「元気発進！子どもプラン」における位置づけ	-	-
「元気発進！子どもプラン」における事業名	<p>教育プラン 教職員研修の充実</p>	-
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・教育センター、教職員課	教育委員会・教職員課、教育センター

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 豊かな人間性をはぐくむ体制づくり

事業番号	244	245
事業名	英語教員の資質向上のための研修	教員採用試験の改善
事業概要	子どもの英語による実践的コミュニケーション能力の育成をめざし、英語科教員に対し、指導力の向上を目指した研修を実施する(平成15年度から5か年計画)。	本市が目指す学校教育にふさわしい教職員を確保するため、教員採用試験の改善を行う。
指標	受講者数	—
初期値 (計画策定時)	15年度:40人	—
目標値	19年度までに受講者数175人(累計)	—
21年度 実績値	—	—
達成状況 (17~21年度)	目標値である「19年度までに受講者数175人(累計)」を達成	—
21年度 実施状況等	<p>■平成19年度事業終了。 (参考) 平成19年度までの受講者数181人(累計)</p>	<p>■各試験区分毎の試験内容や配点、評定の方法等を公表 ■教職経験者特別選考の導入 ■障害者特別選考の導入</p>
「元気発進!子どもプラン」における位置づけ	—	—
「元気発進!子どもプラン」における事業名	—	教育プラン 教員採用・管理職試験の改善
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・教育センター	教育委員会・教職員課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 豊かな人間性をはぐくむ体制づくり

事業番号	246	247
事業名	管理職(校長・教頭等)試験の改善	学校評価の推進
事業概要	本市が目指す学校教育にふさわしい管理職(校長、教頭等)を任用するため、昇任試験の改善を行う。	学校・園が保護者や地域住民などの信頼に応え、家庭や地域と連携、協力して一体となって子どもの健やかな成長を図っていくため、教育活動その他の学校運営について、学校・地域の実情に応じた学校の評価システムを実施する。
指標	—	実施率
初期値 (計画策定時)	—	16年度: 自己100%、外部 73%
目標値	—	21年度までに、自己評価実施率 100%
21年度 実績値	—	自己100%
達成状況 (17~21年度)	—	目標値達成
21年度 実施状況等	<p>■受験資格の見直し 校長等候補の受験資格における、教頭職経験年数を、4年以上から3年以上へと、平成21年度実施分より見直し。</p> <p>■不正防止のための改善策 第二次試験結果発表後、試験問題、配点及び筆記試験の回答について、北九州市立文書館にて受験者以外も閲覧可能とした。</p>	<p>■自己評価実施率:100%</p>
「元気発進!子どもプラン」における位置づけ	—	—
「元気発進!子どもプラン」における事業名	教育プラン 「教員採用・管理職試験の改善」に統合	教育プラン 学校評価の実施
備考 (特記事項)		平成20年度から、外部評価の定義が変わり、学校関係者評価(任意)として実施している。
担当(課)	教育委員会・教職員課	教育委員会・指導第一課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 豊かな人間性をはぐくむ体制づくり

事業番号	248	249
事業名	学校評議員制度	学校教育制度実践研究事業
事業概要	すべての市立幼・小・中・特別支援・高等学校において学校評議員を委嘱し、評議員から出された意見を参考にして、開かれた学校づくりを一層推進し、学校が家庭や地域と連携協力しながら、特色ある教育活動を展開していく。	大きな変革期を迎えている学校教育制度を調査研究し、北九州市らしい教育改革を実現することを目的に、二学期制や長期休業期間の弾力的運用などについて、実践的な調査研究を行う。
指標	-	-
初期値 (計画策定時)	-	-
目標値	-	-
21年度 実績値	-	-
達成状況 (17～21年度)	-	-
21年度 実施状況等	<ul style="list-style-type: none"> ■全校・園で実施 ■学校評価における学校関係者評価の評価者としての活用を検討 	<p>■平成18年度事業終了。</p> <p>(参考:18年度実績)</p> <p>二学期制や長期休業期間の弾力的運用、小中連携などについて実践研究を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二学期制:5校 ・長期休業期間の弾力的運用:2校 ・小中連携:4中学校、9小学校
「元気発進!子どもプラン」における位置づけ	-	-
「元気発進!子どもプラン」における事業名	教育プラン 「学校評価の実施」に統合	-
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・指導第一課	教育委員会・指導企画課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 豊かな人間性をはぐくむ体制づくり

事業番号	250	251
事業名	学校教育実態総合調査事業	戸畑商業高等学校の学科改編
事業概要	継続的に定点観測を行う経年(3年に1回)調査として、本市における学校教育の現状を調査・分析し、課題解決に向けての研究、提言を行う。	戸畑商業高校の学科について普通科を新設するなど改編し、多様化する生徒の学習ニーズや進路希望に対応する。この学科改編を機に校名を変更する(平成19年4月)。
指標	調査実施	—
初期値 (計画策定時)	13年度:第1回調査実施	—
目標値	3年毎調査実施	—
21年度 実績値	21年度:研究会議を30回開催、研究成果の公表 3年毎に実施 (第4回北九州市学校教育実態調査を22年度実施予定)	—
達成状況 (17~21年度)	17・18年度:研究開発協力校研究 19年度:第3回北九州市学校教育実態調査 20・21年度:研究開発協力校研究	—
21年度 実施状況等	<p>■研究開発協力校委嘱</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委嘱学校 :北九州市立修多羅小学校 北九州市立尾倉中学校 ・委嘱期間 :平成21年5月~平成22年3月 ・研究主題 :「集団の教育力に着目した学校教育の試み」 ・研究発表会実施:平成22年2月 ・研究報告書刊行:平成22年3月 	<p>■平成18年度事業終了。</p> <p>(参考:18年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福岡県教育委員会から、学科改編について承認。 ・学科改編・校名変更のための規則を改正。 ・平成19年4月1日、学科を改編し、「北九州市立高等学校」に校名変更。
「元気発進!子どもプラン」における位置づけ	—	—
「元気発進!子どもプラン」における事業名	教育プラン 「カリキュラムセンター機能の充実(調査研究等)」に統合	—
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・教育センター	教育委員会・指導企画課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 豊かな人間性をはぐくむ体制づくり

事業番号	252	253
事業名	戸畑高等専修学校の移転	高等理容美容学校の民営化
事業概要	戸畑まちづくり構想に基づく再開発事業に伴い、戸畑高等専修学校を移転(平成19年4月)する。	高等理容美容学校(高卒者を対象とした二年制の各種学校)について、民間事業者の活用を含め、運営のあり方を検討する。
指標	-	-
初期値 (計画策定時)	-	-
目標値	-	-
21年度 実績値	-	-
達成状況 (17~21年度)	-	-
21年度 実施状況等	<p>■平成18年度事業終了。</p> <p>(参考:18年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設改修工事の実施。 ・平成19年4月1日移転(北九州中央高等学園と校舎を共有)。 	<p>■運営のあり方についての検討を継続している。</p>
「元気発進!子どもプラン」における位置づけ	-	-
「元気発進!子どもプラン」における事業名	-	教育プラン 専門技術を身につけた職業人の育成
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・指導企画課	教育委員会・指導第一課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 豊かな人間性をはぐくむ体制づくり

事業番号	254	255
事業名	特別支援教育サポート事業	社会参加・自立促進に関する調査
事業概要	<p>教育相談を実施し、家庭生活や学校生活での支援等について、保護者や園・学校等に助言を行う。</p> <p>巡回相談を実施し、授業等における児童生徒等の状況を把握し、校内支援体制づくりや個別の指導計画作成等について園・学校に助言を行う。</p> <p>また、必要に応じて、専門家チームの活用(専門家派遣)を行う。</p>	<p>障害のある児童生徒の社会参加・自立に向けて、関係機関が一体となった支援の在り方について検討する。通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒の指導・支援の在り方について検討する。</p> <p>障害のある生徒の就労、特に一般就労の促進に向け、関係機関及び企業等と連携し、特別支援学校における教育の充実について検討する。</p>
指標	—	在り方についての検討
初期値 (計画策定時)	—	16年度:検討
目標値	—	17年度までに国の動向を踏まえ、検討
21年度 実績値	—	就労支援コーディネーターや就労支援専門家の有効な活用等により特別支援教育の充実を図ることができた
達成状況 (17~21年度)	—	17年度:国の動向踏まえ検討(目標達成)
21年度 実施状況等	<p>■巡回相談 236人(実数)</p> <p>■教育相談 392人(実数)</p> <p>■専門家派遣 10回</p>	<p>■就労支援コーディネーターを配置し、就職や実習協力、企業の開拓に努めることができた。</p> <p>■就労支援専門家を5職種派遣し、有効に活用することができた。</p> <p>■学校に対して「進路指導セミナー」(11月)を実施</p> <p>■企業に対して「企業関係者による北九州中央高等学園の見学」(12月)を実施</p> <p>■生徒と企業等をつなぐ「事業所面接会」(10月・2月)を実施</p>
「元気発進!子どもプラン」における位置づけ	政策分野4-(4) 障害のある子どもへの支援	—
「元気発進!子どもプラン」における事業名	特別支援教育相談センターにおける相談事業	教育プラン 「特別支援教育を推進する人の配置」に統合
備考 (特記事項)	平成19年度から、No.256「ADHD・高機能自閉症児等サポート事業」を統合	
担当(課)	教育委員会・特別支援教育課	教育委員会・特別支援教育課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 豊かな人間性をはぐくむ体制づくり

事業番号	256	257
事業名	ADHD・高機能自閉症児等サポート事業	特別支援教育推進研修事業
事業概要	市立幼・小・中学校の通常の学級に在籍するADHD児や高機能自閉症児等に対する専門的な教育的支援を行うとともに、教員や関係機関との調整を行う地域の中核となるコーディネーター的な役割を果たす人材を育成する。	教員の特別支援教育に関する指導力と専門性の向上を図るために必要な研修を行なう。また、特別支援教育に関する専門的・技術的事項について委嘱研究を実施する。
指標	-	-
初期値 (計画策定時)	-	-
目標値	-	-
21年度 実績値	-	-
達成状況 (17～21年度)	-	-
21年度 実施状況等	■平成19年度から、No.254「特別支援教育サポート事業」に統合。	■通級指導教室新担当教諭、特別支援学級新担当教諭、特別支援学校新担当教諭、新任教頭、新採校長等の教職員を対象に、夏季休業期間中を中心に36の研修を行った。
「元気発進！子どもプラン」における位置づけ	-	-
「元気発進！子どもプラン」における事業名	-	教育プラン 「教職員の専門性の向上」に統合
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・特別支援教育相談センター	教育委員会・教育センター

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 豊かな人間性をはぐくむ体制づくり

事業番号	258	259
事業名	特別支援学校における緊急時対応体制整備事業	教職員研修派遣(特別支援教育担当職員)
事業概要	北九州特別支援学校及び八幡西特別支援学校に、医療的ケアを必要とする障害の重い児童生徒が増加しているため、それぞれの学校に看護師1名を配置し、緊急時等に対応できる体制を整備する。	本市の特別支援教育の充実・向上のため、通級指導教室・特別支援学級・特別支援学校から独立行政法人国立特殊教育総合研究所短期研修等に派遣する。
指標	—	—
初期値 (計画策定時)	—	—
目標値	—	—
21年度 実績値	—	—
達成状況 (17～21年度)	—	—
21年度 実施状況等	<ul style="list-style-type: none"> ■看護師の配置 ■運営協議会の実施 ■教職員研修の実施 ■校内における実施体制整備 	<ul style="list-style-type: none"> ■今後の特別支援教育を担う中核となる教員を1名派遣した。
「元気発進！子どもプラン」における位置づけ	—	—
「元気発進！子どもプラン」における事業名	教育プラン 「特別支援教育を推進する人の配置」に統合	教育プラン 「教職員の専門性の向上」に統合
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・特別支援教育課	教育委員会・教育センター

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 豊かな人間性をはぐくむ体制づくり

事業番号	260	261
事業名	フレンドリー指導員事業	スクールカウンセラーの配置
事業概要	各学校における不登校、いじめ、暴力行為などの児童生徒の問題行動等の解決に向け、必要に応じてフレンドリー指導員を市立小中学校に配置する。	いじめや不登校等の児童生徒及び保護者への対応には、学校におけるカウンセリング等の機能の充実を図ることが重要な課題となっているため、教育相談に関する高度で専門的な知識・経験を有する臨床心理士等の「心の専門家」であるスクールカウンセラーをすべての市立中学校に配置し、生徒指導上の諸問題の解決を図る。
指標	—	—
初期値 (計画策定時)	—	—
目標値	—	—
21年度 実績値	—	—
達成状況 (17～21年度)	—	—
21年度 実施状況等	■平成18年度から、No.340「学校支援のための市費講師配置事業」に統合。	■市内全中学校(63校)にスクールカウンセラーを配置するとともに、配置時間を拡充し、小学校への派遣を実施。
「元気発進！子どもプラン」における位置づけ	—	政策分野3-(2) 青少年の健全育成
「元気発進！子どもプラン」における事業名	—	スクールカウンセラーの配置
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・指導第二課、教職員課	教育委員会・指導第二課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 豊かな人間性をはぐくむ体制づくり

事業番号	262	263
事業名	不登校児童生徒療育キャンプ(ワラビーキャンプ、ウインターキャンプ)	学校施設の計画的建て替え(改築)
事業概要	不登校の解決を図る一環として、指導員等の指導・援助のもとに、夏季と冬季に療育キャンプを行い、自主性、自立心を育成し、学校への復帰を促す。	安全で豊かな学習環境を確保し、教育環境の改善を図るため、老朽化した学校施設(校舎、屋内運動場、プール等)の建て替えを計画的に進める。
指標	-	建替着手校数
初期値 (計画策定時)	-	16年度:年2校
目標値	-	21年度までに順次実施
21年度 実績値	-	1校
達成状況 (17~21年度)	-	1校
21年度 実施状況等	<ul style="list-style-type: none"> ■ワラビーキャンプ参加者数:16人 ■ウインターキャンプ参加者数:8人 	<ul style="list-style-type: none"> ■老朽校舎等の建替:1校(井堀小)
「元気発進!子どもプラン」における位置づけ	政策分野3-(2) 青少年の健全育成	-
「元気発進!子どもプラン」における事業名	不登校・いじめ対策の充実	教育プラン 「学校耐震事業」に統合
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・指導第二課	教育委員会・施設課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 豊かな人間性をはぐくむ体制づくり

事業番号	264	265
事業名	学校施設の計画的な改修(大規模改修)	学校施設ふれあい事業
事業概要	建て替えまでの校舎の耐久性の確保及び教育環境の改善を図るため、外部や内部、転用可能教室の改造、設備の更新等の大規模改修工事を、原則各校3年計画で実施する。	学校を地域に開かれた安全で環境の良い、特色のあるものにするため、学校施設の整備にあたって地域の意見を聞くなど、住民参加の学校づくりを行う。
指標	-	-
初期値 (計画策定時)	-	-
目標値	-	-
21年度 実績値	-	-
達成状況 (17~21年度)	-	-
21年度 実施状況等	<p>■実施設計7校、大規模工事7校(うち完了2校)。</p>	<p>■小、中学校計7校で実施。 ■実施内容 ・校地の一部に芝生を張り、地域開放的な広場の整備 ・校舎の一部を多目的スペースに改修し、地域交流の場に整備</p>
「元気発進！子どもプラン」における位置づけ	-	-
「元気発進！子どもプラン」における事業名	教育プラン 学校の大規模改修工事	教育プラン 「未来をひらく学校づくり支援事業」に統合
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・施設課	教育委員会・施設課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 豊かな人間性をはぐくむ体制づくり

事業番号	266	267
事業名	さわやかトイレ整備事業	特別支援学校教室空調設置
事業概要	小中学校のトイレについて、これまで進めてきた悪臭対策、小学校トイレ完全男女別化に加え、洋便器の増設、古くなった天井や壁の塗装を行い、「明るく、清潔な」トイレを4年間で整備する。	市立特別支援学校のうち、空調機器が未設置の知的障害及び病弱を対象とした5校について、普通教室及び特別教室に空調機器を設置する。
指標	—	設置学校数
初期値 (計画策定時)	—	16年度:2校
目標値	—	19年度までに5校設置(全養護学校設置完了)
21年度 実績値	—	19年度:1校(累計5校)
達成状況 (17~21年度)	—	目標値達成
21年度 実施状況等	■小、中学校等計69校で給排水管改修、小便器自動水洗化(センサー式)等の悪臭対策工事等を実施。	■平成19年度事業終了。
「元気発進!子どもプラン」における位置づけ	—	—
「元気発進!子どもプラン」における事業名	教育プラン 「さわやかトイレ整備事業」	—
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・施設課	教育委員会・施設課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 豊かな人間性をはぐくむ体制づくり

事業番号	268	269
事業名	学校規模適正化推進事業	小規模校特別転入学制度～のびのびフレンドリースクール～
事業概要	近年の少子化傾向により、市内全体で児童生徒数の減少が進み、小規模な学校が増えているため、教育効果の向上と教育環境の整備を図る目的で、学校統合を行う。	自然環境に恵まれた郊外の小規模な小学校に、通学区域を越えて通学することにより、児童の心身の健康増進を図るとともに、豊かな人間性と自然を愛する心などをはぐくむ。
指標	-	-
初期値 (計画策定時)	-	-
目標値	-	-
21年度 実績値	-	-
達成状況 (17～21年度)	-	-
21年度 実施状況等	<p>■平成22年度の風師中学校と門司中学校の学校統合に向け、地元及び保護者への説明会開催等の事業を推進した。</p>	<p>■柄杓田小学校(門司区)、合馬小学校(小倉南区)、河内小学校(八幡東区)の3校にて実施。 ・制度利用者数:44人</p>
「元気発進!子どもプラン」における位置づけ	-	-
「元気発進!子どもプラン」における事業名	教育プラン 「学校規模適正化推進事業」に統合	教育プラン 小規模校特別転入学制度～のびのびフレンドリースクール～
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・企画課	教育委員会・企画課、指導第一課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 豊かな人間性をはぐくむ体制づくり

事業番号	270	340
事業名	通学区域制度の情報公開事業	学校支援のための市費講師配置事業
事業概要	通学区域索引簿をホームページで公開し、教育委員会ホームページにリンクさせ、広く一般市民へ通学区域についての情報を提供する。	学校現場の課題や状況に応じて学校を支援するため、少人数・習熟度別指導やフレンドリー指導員、特別支援教育補助等、より学校の希望に即した配置を行う。また、18年度に実施した「いじめ問題総点検」の結果を踏まえ、いじめへの対応として、人員の配置が特に求められる学校に対し、市費講師を配置する。
指標	-	-
初期値 (計画策定時)	-	-
目標値	-	-
21年度 実績値	-	-
達成状況 (17～21年度)	-	-
21年度 実施状況等	<p>■平成15年度から継続実施。</p> <p>■沼小学校、沼中学校、吉田小学校、吉田中学校、本城小学校、本城中学校、光貞小学校、洞北中学校の通学区域を変更したことにより、ホームページの内容を修正した。</p>	<p>■活用内容:少人数・習熟度別指導、フレンドリー指導員事業、特別支援教育補助など。</p> <p>■配置実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校支援 延140名 ・いじめ対策 15名
「元気発進！子どもプラン」における位置づけ	-	-
「元気発進！子どもプラン」における事業名	教育プラン 「教育委員会の広報・広聴機能の充実」に統合	教育プラン 柔軟に対応できる学校支援のための市費講師の配置
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・企画課	教育委員会・教職員課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 豊かな人間性をはぐくむ体制づくり

事業番号	345	359
事業名	(仮称)北九州市特別支援教育推進プランの策定	「子どもの未来をひらく教育改革会議」事業
事業概要	学校教育法が改正されることを受け、本市の特別支援教育のあり方について総合的な検討を行い、「(仮称)北九州市特別支援教育推進プラン」の策定を行う。	本市教育のさらなる発展のため、学校、家庭、地域の果たすべき役割及び市民全体で次代を担う人材を育むあり方について、幅広い視点から議論を行い、今後の教育行政への活用を図る。
指標	-	-
初期値 (計画策定時)	-	-
目標値	-	-
21年度 実績値	-	-
達成状況 (17～21年度)	-	-
21年度 実施状況等	<p>■平成20年度事業終了 (参考:平成20年度実績)</p> <p>■北九州市子どもの未来をひらく教育改革会議から、「北九州市特別支援教育の充実に向けて」(提言)を受けた。</p>	<p>■平成20年度事業終了 (参考:平成20年度実績)</p> <p>■平成20年度は会議を9回開催し、教育の課題や方向性について幅広く検討した。また、平成21年3月に議論のまとめとなる報告書の提出を受けた。</p>
「元気発進!子どもプラン」における位置づけ	-	-
「元気発進!子どもプラン」における事業名	-	-
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・特別支援教育課、教職員課、企画課	教育委員会・企画課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 豊かな人間性をはぐくむ体制づくり

事業番号	360	361
事業名	35人以下学級編成の実施	学校施設の耐震補強
事業概要	「小1プロブレム」や「中1ギャップ」といった課題に対処するため、平成20年度から小学校1年生(平成21年度からは小学校1・2年生)及び中学校1年生について35人学級を実施する。	安全で安心な学校施設の整備のため、建築基準法が改正された昭和56年以前に建設された学校施設の耐震診断を行い、そこで補強が必要とされた施設において耐震補強工事を実施する。また、教育環境の改善を図るため、あわせて大規模改修工事を行う。
指標	—	—
初期値 (計画策定時)	—	—
目標値	—	—
21年度 実績値	—	—
達成状況 (17～21年度)	—	—
21年度 実施状況等	<ul style="list-style-type: none"> ■小学校1年生・2年生と中学校1年生で実施 ・実施に伴う学級増 小学校:41校 中学校:29校 	<ul style="list-style-type: none"> ■耐震診断:40校 ■耐震補強工事:7校(うち完了4校) <p>【参考】 診断:54校(平成19年度～21年度) (優先度の高い学校のみ)</p>
「元気発進!子どもプラン」における位置づけ	—	—
「元気発進!子どもプラン」における事業名	教育プラン 35人以下学級編成の実施	教育プラン 学校耐震事業
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・教職員課、施設課	教育委員会・施設課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 豊かな人間性をはぐくむ体制づくり

事業番号	362	363
事業名	教職員の人事評価等に関する調査研究	北九州市立高等学校の充実
事業概要	平成18年度から導入した人事評価の結果の活用方法や運用状況を検証し、一層の改善を図るとともに、高い指導力のある教員を(仮称)マイスター教員として認定し、活用する等、教員の資質向上を図る方策について検討を行う。	北九州市立高等学校は、学科改編や校名変更、通学区域の変更、特待生奨学金の創設等を行ってきたが、「文武両道」の教育方針のもと、学力を向上させるとともに「スポーツや芸術の才能を伸ばす学校」づくりを推進するため、カリキュラムの見直しや生徒寮の整備などに取り組む。
指標	-	-
初期値 (計画策定時)	-	-
目標値	-	-
21年度 実績値	-	-
達成状況 (17～21年度)	-	-
21年度 実施状況等	<ul style="list-style-type: none"> ■平成20年度事業終了 (参考:平成20年度実績) ■調査研究協議会において活用方法等の検討(処遇、活動内容) 	<ul style="list-style-type: none"> ■校名変更(旧:戸畑商業高校)(平成19年度) ■学科改編(普通科設置)(平成19年度) ■通学区域の一部変更(スポーツや芸術の技術が優秀な生徒については市外からでも可)(平成19年度) ■特待生奨学金を5名に給付(平成19年度より継続) ■「あさあけ寮」(生徒寮)の設置(平成20年度)
「元気発進!子どもプラン」における位置づけ	-	-
「元気発進!子どもプラン」における事業名	-	教育プラン 北九州市立高校の充実
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・教職員課	教育委員会・指導企画課、指導第一課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 豊かな人間性をはぐくむ体制づくり

事業番号	364	379
事業名	学校大好きオンリーワン事業	スクールソーシャルワーカー活用事業
事業概要	<p>教科等教育における実践研究の推進と、専門性の高い指導力のある教師の育成を図るために、長期的な展望に立って、本市小・中学校における教科等教育の研究拠点校づくりを推進する。</p> <p>これらの研究拠点校の成果を全市に広め、本市教育の充実と教育水準の向上を図り、子どもがいそいそと学ぶ学校づくりを目指す。</p>	<p>社会福祉士又は精神保健福祉士の資格を有するスクールソーシャルワーカー2名を教育委員会内に配置し、学校からの要請に応じ、学校ケース会議への参加によるケースの見立て、家庭訪問等による問題を抱える児童生徒が置かれた環境への働きかけ、関係機関等との連携などの支援を行う。</p>
指標	-	-
初期値 (計画策定時)	-	-
目標値	-	-
21年度 実績値	-	-
達成状況 (17～21年度)	-	-
21年度 実施状況等	<p>■第3期推進校1校を委嘱し、全10校で実施。</p>	<p>■支援対象児童生徒数:128名</p>
「元気発進！子どもプラン」における位置づけ	-	-
「元気発進！子どもプラン」における事業名	<p>教育プラン 学校大好きオンリーワン事業</p>	<p>教育プラン スクールソーシャルワーカー活用事業</p>
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・指導第一課	教育委員会・指導第二課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ ボランティア活動・体験活動などの推進

事業番号	271	272
事業名	青少年ボランティアステーション推進事業	青少年施設ボランティア養成事業
事業概要	<p>社会の構成員としての規範意識や命を大切にし他人を思いやる心など、豊かな人間性をはぐくむため、青少年ボランティアステーションを拠点に青少年が行うボランティア体験活動を支援、促進する。</p>	<p>青少年に対し、青少年施設をボランティア活動の場として、積極的に提供するとともに、ボランティアに関する研修等を行うことで、青少年の健全育成や社会参加を支援する。</p>
指標	ボランティア体験活動参加者数	-
初期値 (計画策定時)	15年度:2,455人	-
目標値	21年度までにボランティア体験活動参加者数2,500人	-
21年度 実績値	3,350人	-
達成状況 (17～21年度)	<p>目標値達成 【参考】17年度:2,109人、18年度:2,686人、19年度:2,767人、20年度:1,952人、21年度:3,350人</p>	-
21年度 実施状況等	<p>■活動内容 【研修機能】 「ボランティアリーダー研修会(7月)」、「夏休みの青少年ボランティア体験事業事前研修(7月)」、「青少年ボランティア講座(3月)」等を実施 【情報機能】 ・「夏休みの青少年ボランティア体験参加者募集チラシ」を市内小中高校生へ配布(6月) ・「平成20年度ボランティア体験活動の記録」の発行(7月) ・青少年ボランティアステーション広報誌「Volunteer Station」を年3回発行(6月、10月、2月) 【課題を抱える青少年のボランティア体験】 福岡家庭裁判所小倉支部や子ども総合センターとの連携により、ボランティア活動を通じた立ち直り支援を実施 ■活動者数:3,350人(延べ数) ※達成率:134%</p>	<p>■活動内容 ・施設ボランティアは、各施設で事業の補助等を行う。 ・各施設にボランティアサークルをつくり、活動の活性化や継続を図る。 ・施設ボランティアの活動に必要な研修を行う。 ■ボランティア登録者:255人</p>
「元気発進!子どもプラン」における位置づけ	政策分野3-(2) 青少年の健全育成	政策分野3-(2) 青少年の健全育成
「元気発進!子どもプラン」における事業名	青少年ボランティアステーション推進事業	青少年施設ボランティア養成事業
備考 (特記事項)		
担当(課)	子ども家庭局・青少年課	子ども家庭局・青少年課、たしろ少年自然の家、かぐめよし少年自然の家、もじ少年自然の家、玄海青年の家、夜宮青少年センター、児童文化科学館

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ ボランティア活動・体験活動などの推進

事業番号	273	274
事業名	北九州市環境社会貢献活動等奨学金事業	遊びの広場促進事業
事業概要	青少年のボランティア活動への参加促進と優秀な人材の確保・育成のため、優れた活動を行っている学生に奨学金を給付する。	市内の青少年育成団体やグループが実施する子どもの体験活動の中から、地域の特色を生かした活動や冒険遊び場(プレイパーク)活動など、他の団体やグループの参考になる事業に対して支援を行う。
指標	—	—
初期値 (計画策定時)	—	—
目標値	—	—
21年度 実績値	—	—
達成状況 (17～21年度)	—	—
21年度 実施状況等	<ul style="list-style-type: none"> ■支給対象者:北九州市に1年以上居住または保護者が北九州市に1年以上居住する高校生・大学生等で、継続して社会貢献活動を行い、顕著な実績のある者 ■奨学金の額:1人につき10万円 ■予算原資:北九州市篤志奨学資金基金(教育委員会・学事課管理) ■支給人数:20人 	<ul style="list-style-type: none"> ■応募件数9件中、9団体に923,900円を助成。
「元気発進!子どもプラン」における位置づけ	政策分野3-(2) 青少年の健全育成	政策分野3-(2) 青少年の健全育成
「元気発進!子どもプラン」における事業名	北九州市青少年ボランティア奨学金事業	遊びの広場促進事業
備考 (特記事項)		
担当(課)	子ども家庭局・青少年課	子ども家庭局・青少年課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ ボランティア活動・体験活動などの推進

事業番号	275	276
事業名	青少年施設の機能充実	野外教育推進事業
事業概要	青少年に対する自然体験活動をはじめとする様々なプログラムの提供や青少年育成指導者の養成をさらに充実するとともに、家族利用やグループ利用、学校教育・生涯学習での利用など、新たなニーズに対応するため、青少年の家の機能見直しや再配置を検討、実施する。	各青少年施設において、施設の特徴を生かしながら魅力あるプログラムをつくり、青少年の自主的で主体的な事業への参加・活動の促進を図り有意義な自然体験活動の場を提供する。
指標	—	—
初期値 (計画策定時)	—	—
目標値	—	—
21年度 実績値	—	—
達成状況 (17～21年度)	—	—
21年度 実施状況等	<p>■自然体験活動等の主催事業(4施設):161事業実施</p> <p>■主催事業の延利用者数(4施設):12,203人</p> <p>【参考】 〈主催事業〉 17年度141事業、18年度149事業、19年度155事業 20年度182事業、21年度161事業</p>	<p>■活動内容</p> <p>各青少年施設において、各種野外活動プログラムを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然に親しむ親と子のつどい ・わんぱく大集合 ・子どもチャレンジ など <p>■施設利用者数(延べ人数):115,354人</p>
「元気発進！子どもプラン」における位置づけ	政策分野3-(2) 青少年の健全育成	政策分野3-(2) 青少年の健全育成
「元気発進！子どもプラン」における事業名	青少年の家の整備・充実	野外教育等推進事業
備考 (特記事項)		平成21年度から、当事業に「青少年施設各種事業」を統合し、「野外教育等推進事業」と名称を改めた。
担当(課)	子ども家庭局・青少年課	子ども家庭局・青少年課、夜宮青少年センター かぐめよし少年自然の家、たしろ少年自然の家

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ ボランティア活動・体験活動などの推進

事業番号	277	278
事業名	紫川大冒険	チャレンジ100キロ
事業概要	紫川をキーワードとし、川を通して生き生きとした青少年の自然体験活動を行い、困難を克服し、たくましさ、協働の大切さを学ぶ。	青少年施設に宿泊しながら、市内約100キロの行程を自らの足で歩くことを通じて心身ともにたくましい子どもの育成を図る。
指標	—	—
初期値 (計画策定時)	—	—
目標値	—	—
21年度 実績値	—	—
達成状況 (17～21年度)	—	—
21年度 実施状況等	■平成19年度事業終了。	■期間: 平成22年3月25日(木)～29日(月) 4泊5日 ■場所: 北九州市一円 ■参加者: 小学4年生～中学3年生(100人) ■内容 ・市内青少年施設間の約100キロの踏破 ・事前事後研修 ■参加者負担金: 14,000円/人
「元気発進!子どもプラン」における位置づけ	—	政策分野3-(2) 青少年の健全育成
「元気発進!子どもプラン」における事業名	—	チャレンジ100キロ～歩け北九州っ子若武者の旅～
備考 (特記事項)		
担当(課)	建設局・保全課	子ども家庭局・青少年課、夜宮青少年センター かぐめよし少年自然の家、たしろ少年自然の家 もじ少年自然の家、玄海青年の家

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ ボランティア活動・体験活動などの推進

事業番号	279	280
事業名	九州都市中学生交流大会	市民とともに進める自然環境の保護
事業概要	九州の県庁所在地、政令指定都市の中学生が一堂に会し、野外体験などの交流活動を通じて、豊かな人間関係づくり、次世代を担う青少年としての資質を育成する。	自然環境の重要性に対する市民意識の啓発を図るため、山田緑地などの自然観察施設を利用し、自然保護団体やNPO、ボランティアなどと連携し、各種教室、講座を開催する。
指標	—	—
初期値 (計画策定時)	—	—
目標値	—	—
21年度 実績値	—	—
達成状況 (17～21年度)	—	—
21年度 実施状況等	<p>■実施内容:開催都市の青少年施設等を利用し、班別活動や都市紹介、レクリエーション、野外活動などとおして、交流を深める。</p> <p>■平成21年度実績 期間:平成21年8月5日(水)～7日(金) 会場:佐賀県北山少年自然の家 参加者:市内中学2年生 48名 引率者9名</p> <p>■平成21年度をもって事業終了 (H22年度から不参加)</p>	<p>■自然観察会等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動回数:333回 ・参加者:10,930人
「元気発進!子どもプラン」における位置づけ	—	政策分野3-(2) 青少年の健全育成
「元気発進!子どもプラン」における事業名	—	市民とともに進める自然環境の保護
備考 (特記事項)		
担当(課)	子ども家庭局・青少年課	建設局・公園管理課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ ボランティア活動・体験活動などの推進

事業番号	281	282
事業名	青少年団体指導者養成総合事業	ワクワク農業体験事業
事業概要	子ども会をはじめとした青少年育成団体等の自主的な活動を支援するため、子どもの育成活動に関わる人などを対象に指導者養成事業等を行う。	食の原点である農について理解を深めるため、農に関する話や農作業体験等、学校が取り組む農の学習を支援する。
指標	-	-
初期値 (計画策定時)	-	-
目標値	-	-
21年度 実績値	-	-
達成状況 (17～21年度)	-	-
21年度 実施状況等	<ul style="list-style-type: none"> ■受講者数:202人 ・市開催分: 91人 ・区開催分:111人(延べ人数) 	<ul style="list-style-type: none"> ■実施内容:農に関する話、農作業体験等を通じて小学校が取り組む農の学習を支援した。 ■参加学校数:26校
「元気発進!子どもプラン」における位置づけ	政策分野3-(2) 青少年の健全育成	政策分野3-(2) 青少年の健全育成
「元気発進!子どもプラン」における事業名	青少年団体指導者養成総合事業	ワクワク農業体験事業
備考 (特記事項)		
担当(課)	子ども家庭局・青少年課	産業経済局・地産地消推進課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ ボランティア活動・体験活動などの推進

事業番号	283	284
事業名	夏休みこどもバスぽ〜と	こども文化パスポート事業
事業概要	子育てに対する親の経済的負担や送迎の負担を軽減するとともに、子どもの社会参加、自立、自主性の育成に貢献するため、夏休み期間中に小・中学生向けに、1日乗車券の料金(小学生350円、中学生700円)で、7日間市営バスの全路線(エアポートバスを除く)乗り放題の乗車券を販売する。	夏休みを中心に、文化施設などの無料(一部有料)パスポートを小・中・特別支援学校の児童・生徒及び幼稚園・保育所等の幼児に配布し、歴史・文化・自然に接する機会を増やすことによって、「心の豊かさ」をはぐくむとともに、「家族のふれあい」の増加を図る。
指標	発売枚数	延利用者数
初期値 (計画策定時)	16年度:計974枚 小学生券616枚 中学生券358枚	16年度:139,000人
目標値	21年度までに発売枚数1,000枚	21年度までに延利用者数153,000人
21年度 実績値	593枚 【内訳】小学生券346枚 中学生券247枚	125,000人
達成状況 (17~21年度)	17年度…1,093枚 18年度…773枚 19年度…472枚 20年度…478枚 21年度…593枚	目標値延利用者数153,000人を達成できたのは、H17年度のみで他の年度は下回った。(H17年度181,000人、H18年度135,000人、H19年度135,000人、H20年度97,000人、H21年度125,000人)
21年度 実施状況等	■乗車券のお得感や利便性を積極的にPRした。	■配布エリアは北九州都市圏(北九州市・中間市・芦屋町・水巻町・岡垣町・遠賀町)・下関市・長門市。 ■全55施設で実施。
「元気発進!子どもプラン」における位置づけ	政策分野3-(2) 青少年の健全育成	政策分野3-(2) 青少年の健全育成
「元気発進!子どもプラン」における事業名	夏休みこどもバスぽ〜と	こども文化パスポート
備考 (特記事項)		
担当(課)	交通局・業務課	教育委員会・企画課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ ボランティア活動・体験活動などの推進

事業番号	285	286
事業名	子どもたちの文化体験事業	子ども文化ふれあいフェスタ
事業概要	子どもたちの豊かな表現力や感性を養うとともに、文化への理解関心を深めるため、音楽・演劇等文化施設をはじめ、学校や地域等で文化関係者が指導を行う文化体験事業を実施する。	子どもたちを対象に様々な文化体験・鑑賞ができる「子ども文化ふれあいフェスタ」を開催し、文化を身近に感じてもらうことにより、子どもたちの豊かな人間性と多様な個性をはぐくむ。
指標	参加者数	来場者数
初期値 (計画策定時)	16年度:2,958人	16年度:9,117人
目標値	20年度までに参加者数6,000人	19年度までに来場者数4,000人
21年度 実績値	4,812人	1,363人
達成状況 (17～21年度)	H17年度:2,272人、H18年度:2,231人、H19年度:8,402人、 H20年度:5,359人、H21年度:4,812人	H17年度:8,820人、H18年度:2,615人、H19年度:1,535人、 H20年度:1,505人、H21年度:1,363人
21年度 実施状況等	<ul style="list-style-type: none"> ■子ども伝統文化体験 北九州芸術祭において、日本舞踊、民踊等の伝統文化の体験講座を開催。 ■音楽アウトリーチ 芸術家が直接小学校などに出向いて、クラシック音楽などに触れる機会を提供。 ■表現教育 演劇的手法を活用し、子どもの「表現力」「創造力」を高める表現教育を学校などで実施。 ■演劇ワークショップ 演劇の普及を目的に学校に出向いて、演劇ワークショップを実施。 ■パントマイムワークショップ プロのパントマイマーが北九州に集結するフェスティバルにおいて、パントマイムのワークショップを開催。 ■子どもノンフィクション文学賞(H21年度新規事業) ノンフィクションを書く経験をとおり、子どもたちが人間や社会へ関心をもち、思考力を高めながら成長していききっかけとした。 	<ul style="list-style-type: none"> ■時期/場所 ・平成21年7月31日(金)～8月2日(日) /現代美術センター・CCA北九州 ・平成21年8月27日(木)～30日(日) /北九州芸術劇場・大ホール・小劇場、アート&エコスペース、アートラウンジ、朝日新聞さんさん広場、視聴覚センター、美術館、松本清張記念館、文学館、CCA北九州 ■内容 事前に参加者を募集し、各会場で実行委員会構成団体により行われる芸術文化を体験・鑑賞する。 ・体験型プログラム:13事業 ・鑑賞型プログラム2事業 ■のべ参加者数:1,363人(うち体験型プログラム参加者:1,190人)
「元気発進!子どもプラン」における位置づけ	政策分野3-(2) 青少年の健全育成	政策分野3-(2) 青少年の健全育成
「元気発進!子どもプラン」における事業名	子どもたちの文化体験事業	子ども文化ふれあいフェスタ
備考 (特記事項)		
担当(課)	企画文化局・文化振興課	企画文化局・文化振興課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ ボランティア活動・体験活動などの推進

事業番号	287	288
事業名	美術館新世紀計画～未来の入館者育成事業	文化財出前教室
事業概要	美術を愛好する心を育て、豊かな情操を養うなど、子どもたちの心の教育の充実を図るため、たんけんパスポートの配布やおもしろミュージアム、館内特別授業などを行う。	小学校高学年を対象に、地域の埋蔵文化財に触れたり身近な文化財を調べたりすることで、地域や歴史への関心を深め、郷土愛をはぐくむため、学芸員を派遣し、出前授業を実施する。
指標	実施回数(おもしろミュージアム、館内特別授業)	—
初期値 (計画策定時)	16年度:50回	—
目標値	—	—
21年度 実績値	—	—
達成状況 (17～21年度)	—	—
21年度 実施状況等	<p>■平成17年度事業終了。</p> <p>■平成18年度から、従来の内容を発展・拡大させ、新規事業No.346「わくわくアートミュージアム事業」として実施。</p>	<p>■10校745名が参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・門司区:3校188名、原町別院遺跡・大積前田遺跡等 ・小倉北区:1校58名、大島遺跡・東宮ノ尾遺跡等 ・小倉南区:2校172名、志井雀木遺跡・徳力遺跡等 ・若松区:2校219名、浜田遺跡・蛸住古立遺跡等 ・八幡東区:2校108名、高槻遺跡等
「元気発進！子どもプラン」における位置づけ	—	—
「元気発進！子どもプラン」における事業名	—	—
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・美術館	教育委員会・文化財課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ ボランティア活動・体験活動などの推進

事業番号	289	290
事業名	博物館セカンドスクール事業	少年少女合唱団・ジュニアオーケストラ育成
事業概要	いのちのたび博物館を「第2の学校」と位置付け、学校では得られない知識を習得するとともに、貴重な体験を通して、総合的な学習の時間、理科、社会科等の教科の学習意欲を高める。	音楽を通して情操豊かな人間形成と音楽分野の高揚を図り、次代の芸術・文化の担い手を育成するとともに地域文化の振興に寄与することを目指し、少年少女合唱団、ジュニアオーケストラを育成する。
指標	累計入館学校数	団員数
初期値 (計画策定時)	15年度:217校	16年度:188人
目標値	21年度までに入館学校数1,179校(累計)	20年度までに団員数200人
21年度 実績値	171校	200人
達成状況 (17～21年度)	889校(累計)	200人(平成21年度末現在)
21年度 実施状況等	<ul style="list-style-type: none"> ■博物館への誘致事業(PR)の実施 ・博物館誘致事業 ・博物館利用案内事業 ・情報発信手段活用による誘致活動 ■学校教育支援事業(学校教育との連携) ・博物館活用資料整備事業 ・体験学習プログラムの提供 ・授業づくり支援 ■家庭教育支援事業(学校週5日制・生涯教育への対応) ・「いのちのたび子ども教室」 	<ul style="list-style-type: none"> ■団員数 ・北九州市少年少女合唱団:90人 ・北九州市ジュニアオーケストラ:110人
「元気発進!子どもプラン」における位置づけ	政策分野3-(2) 青少年の健全育成	政策分野3-(2) 青少年の健全育成
「元気発進!子どもプラン」における事業名	博物館セカンドスクール事業	少年少女合唱団・ジュニアオーケストラ育成
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・自然史・歴史博物館	企画文化局・文化振興課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ ボランティア活動・体験活動などの推進

事業番号	291	292
事業名	青少年社会参加促進事業	ジュニアマイスター養成講座
事業概要	青少年が自ら企画し運営する文化や福祉、環境などに関する活動をとおして青少年の社会参加を促進させるため、市内の団体・グループが青少年の社会参加のために行う事業の中から、他の団体・グループ活動の参考になる事業に対し支援を行う。	子どもたちの科学やものづくりへの興味、関心、探求心を高めるため、北九州マイスターや企業、大学等と連携して、小・中学生を対象に各種教室を開催する。
指標	—	参加者数
初期値 (計画策定時)	—	15年度:14,832人
目標値	—	21年度までに参加者数8,000人
21年度 実績値	—	6,128人
達成状況 (17～21年度)	—	17年度 7,038人 18年度 7,345人 19年度 6,062人 20年度 5,269人 21年度 6,128人
21年度 実施状況等	■平成19年度事業終了	■活動内容 一般向け科学体験事業:たのしい科学教室、たのしい工作教室、本物ものづくり教室、未来の科学者教室、ふしぎ発見「わくわくサイエンスキッズ」、科学教室、サイエンスショー、ロボット工房、親子ロボットプログラミング教室、サッカーロボット教室
「元気発進！子どもプラン」における位置づけ	—	政策分野3-(2) 青少年の健全育成
「元気発進！子どもプラン」における事業名	—	ジュニアマイスター養成講座
備考 (特記事項)		
担当(課)	子ども家庭局・青少年課	子ども家庭局・児童文化科学館

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ ボランティア活動・体験活動などの推進

事業番号	346	365
事業名	わくわくアートミュージアム事業	菜の花プロジェクト推進事業
事業概要	子どもたちの感動する心や豊かな情操を養うため、現在将来にわたり、美術館を積極的に活用し美術に親しむ態度を育てる。美術ジュニアボランティアの育成、「たんけんパスポート」の配布やワークショップ、館内授業などを行う。小・中学校の学習指導要領に美術館を活用した授業の実施が明記されたことを受け、学校の美術教育活動を支援する。	市民(子どもたち)参加者が、ボランティア活動や環境教育の一環として、菜の花栽培から廃食用油の回収・再利用までを体験し、資源循環や新エネルギー利用について理解を深める。
指標	-	-
初期値 (計画策定時)	-	-
目標値	-	-
21年度 実績値	-	-
達成状況 (17~21年度)	-	-
21年度 実施状況等	<ul style="list-style-type: none"> ■活動件数:86回 ・美術ジュニアボランティア活動:11回 ・ワークショップ:10回 ・館内授業:65回(うち小学生美術鑑賞教室:34回) 	<ul style="list-style-type: none"> ■補助事業:8団体 ■種子の無料配布(市民、教育施設など):10,000袋 ■種子の回収(33団体約562kg) ■日帰りエコツアー「菜の花プロジェクトin河内温泉」開催 (市有地2,700㎡に菜種を播種、214名参加、BDFバス2台利用)
「元気発進!子どもプラン」における位置づけ	政策分野3-(2) 青少年の健全育成	政策分野3-(2) 青少年の健全育成
「元気発進!子どもプラン」における事業名	わくわくアートミュージアム事業	菜の花プロジェクト関連事業
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・美術館普及課	環境局・環境学習課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ ボランティア活動・体験活動などの推進

事業番号	380	381
事業名	理科支援員等配置事業	青少年施設環境整備事業
事業概要	外部人材を理科支援員や特別講師として活用することにより、小学校5. 6年生の理科授業における観察・実験活動を充実させ、教員の資質向上を図ることで、小学校の理科授業の充実を図る。	利用者の利便性・快適性の向上を目的として、青少年施設の環境整備を推進する。
指標	-	-
初期値 (計画策定時)	-	-
目標値	-	-
21年度 実績値	-	-
達成状況 (17～21年度)	-	-
21年度 実施状況等	<ul style="list-style-type: none"> ■理科支援員登録者数:130名 ■理科支援員配置校:小学校44校 ■特別講師による授業実施校:小学校9校 ■理科支援コーディネーターによる授業支援実施校:小学校10校 	<ul style="list-style-type: none"> ■こども文化会館雨漏り補修工事 ■児童文化科学館空調設備改修工事
「元気発進！子どもプラン」における位置づけ	-	政策分野3-(2)
「元気発進！子どもプラン」における事業名	教育プラン 「柔軟に対応できる学校支援のための市費講師の配置」に統合	「青少年の家の整備・充実」および「児童文化科学館の整備・充実」に統合
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・指導第一課	子ども家庭局・青少年課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 子どもの健康と体力づくり

事業番号	293	294
事業名	北九っ子！パワーアップ大作戦事業	ジュニアスポーツ振興事業
事業概要	低下傾向にある子どもたちの体力向上のため、ジュニアスポーツ体験教室や親子で遊ぼう！パパ・ママ・キッズ、ジュニアスポーツステップアップ・フェスタを実施し、子どもたちにスポーツの楽しさやスポーツの機会を提供する。	学校体育の中で体験する機会の少ない競技を中心に、競技の普及、基礎技能の習得及び競技力の向上を図る。
指標	-	-
初期値 (計画策定時)	-	-
目標値	-	-
21年度 実績値	-	-
達成状況 (17～21年度)	-	-
21年度 実施状況等	<p>■ジュニアスポーツ体験教室：18教室、956名 (体験14教室：866人、相撲4教室：90人)</p> <p>■ジュニアスポーツステップアップ・フェスタ：7教室、198名</p> <p>■親子で遊ぼう！パパ・ママ・キッズ：5教室、229名 合計：30教室を実施、1,383名が参加。</p>	■平成18年度事業終了(体育協会自主事業として実施)。
「元気発進！子どもプラン」における位置づけ	政策分野3-(2) 青少年の健全育成	-
「元気発進！子どもプラン」における事業名	北九っ子！パワーアップ大作戦事業	-
備考 (特記事項)		
担当(課)	企画文化局・スポーツ振興課	企画文化局・スポーツ振興課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 子どもの健康と体力づくり

事業番号	295	296
事業名	総合型地域スポーツクラブ育成・支援事業	ドリームスポーツタウン推進事業
事業概要	子どもたちをはじめ地域の住民が誰でも、どこでも、いつでもスポーツを楽しむことができる、住民の主体的な運営による総合型地域スポーツクラブの育成を目指し、市内で活動中、あるいは設立準備をしているクラブへの育成・支援を行う。	サッカーを通してスポーツの楽しさを学ぶ機会の提供やトップアスリートを育成するため、「ギラヴァンツ北九州」による、キッズ世代から大学生までの幅広い年代を対象としたサッカー指導を実施する。
指標	クラブ数	-
初期値 (計画策定時)	16年度:3クラブ	-
目標値	21年度までに、7クラブ育成・支援	-
21年度実績値	6クラブ	-
達成状況 (17~21年度)	6クラブ	-
21年度実施状況等	<p>■八幡東区に設立されたクラブへ70万円の財政補助。</p> <p>■市内各クラブの交流促進を図るため、総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を組織しており、計6回会議を開催した。</p>	<p>■巡回指導:173チーム(3,690人)</p> <p>■サッカークリニック:7回(200人)</p> <p>■レディースサッカー大会の実施</p>
「元気発進!子どもプラン」における位置づけ	政策分野3-(2) 青少年の健全育成	政策分野3-(2) 青少年の健全育成
「元気発進!子どもプラン」における事業名	総合型地域スポーツクラブ育成・支援事業	ドリームスポーツタウン推進事業
備考 (特記事項)		
担当(課)	企画文化局・スポーツ振興課	企画文化局・スポーツ振興課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 子どもの健康と体力づくり

事業番号	297	298
事業名	「わくわく体験」スポーツ教室	小学校普通教室の暖房
事業概要	小学1・2年生を対象に、冬季におけるスポーツ体験として、バランス感覚や柔軟性の向上に最適なアイススケート教室を授業の一環として実施し、青少年の健全育成と生涯スポーツの振興を図る。	冬季の特に寒い日に限り、すべての小学校の普通教室において、教室暖房を実施する。
指標	-	-
初期値 (計画策定時)	-	-
目標値	-	-
21年度 実績値	-	-
達成状況 (17～21年度)	-	-
21年度 実施状況等	<p>■11月末から3月までの間、市内の市立小学校の1、2年生を対象に、アイススケート教室を実施。</p> <p>■参加者：15,640人</p> <p>【参考】 各年ともに市内全市立小学校1、2年生を対象に実施</p>	<p>■教室暖房を実施することにより、特に寒い日でも室内での児童の活動が容易になるなど、より良い教室環境を提供できている。</p> <p>■19年度：全市立小学校で実施。</p>
「元気発進！子どもプラン」における位置づけ	政策分野3-(2) 青少年の健全育成	-
「元気発進！子どもプラン」における事業名	わくわく体験スポーツ教室	-
備考 (特記事項)		終了(設置事業は終了)
担当(課)	企画文化局・スポーツ振興課	教育委員会・学校保健課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 子どもの健康と体力づくり

事業番号	299	300
事業名	学校給食の安全確保	中学校の昼食事業
事業概要	給食の安全確保をするため、小学校給食物資の抜き取り検査を行い、検査結果をホームページなどで公表する。	家庭の事情等により弁当を持参できない生徒に対し、栄養価等を配慮した昼食の選択肢を広げるため、既存の売店などを販売場所として活用し、弁当などの販売を行う。
指標	-	-
初期値 (計画策定時)	-	-
目標値	-	-
21年度 実績値	-	-
達成状況 (17～21年度)	-	-
21年度 実施状況等	<ul style="list-style-type: none"> ■約150検体、延べ632項目の検査を実施。 ■基準値を超えた細菌が検出された業者等に対する指導:6検体6業者(すべて指導後再検査陰性) 	<ul style="list-style-type: none"> ■実施校数:51校 ■販売実績:61,660個
「元気発進!子どもプラン」における位置づけ	-	-
「元気発進!子どもプラン」における事業名	教育プラン 「学校給食による食育の推進」に統合	教育プラン 「学校給食による食育の推進」に統合
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・学校保健課	教育委員会・学校保健課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 子どもの健康と体力づくり

事業番号	301	366
事業名	学校給食における食物アレルギー原因物質除去食の実施	子どもの健康・体力づくり推進事業
事業概要	<p>他の児童と同じ給食が食べられない児童の心理的負担や保護者の要望が強まっていることを考慮して、除去食を実施する。</p> <p>平成17年度に、校内体制のあり方などを検証するモデル事業を実施し、その結果を検証したうえで、平成18年度からの本格実施を目指す。</p>	<p>保健福祉部局や学校医との連携により、体を動かすことの意義や食育の重要性を啓発するなど、小学生の親子を対象とした健康・体力づくり教室を小学校の教室、体育館、運動場を会場に、年間を通して開催する</p>
指標	実施校数	-
初期値 (計画策定時)	17年度:小学校18校、養護学校3校(モデル実施)	-
目標値	19年度までに全ての小学校及び特別支援学校の該当校で実施	-
21年度実績値	-	-
達成状況 (17~21年度)	目標値である「平成19年度までに全ての小学校及び特別支援学校の該当校で実施」を達成	-
21年度実施状況等	-	<p>■「No.293 北九っ子！パワーアップ大作戦事業」に統合。</p>
「元気発進！子どもプラン」における位置づけ	-	-
「元気発進！子どもプラン」における事業名	-	-
備考 (特記事項)	終了(H18以降、該当校すべてで実施)	
担当(課)	教育委員会・学校保健課	企画文化局・スポーツ振興課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 子どもの健康と体力づくり

事業番号	367	368
事業名	総合的な食育施策の推進	学校給食の改善
事業概要	「北九州市食育推進計画」に基づき、本市の食育を総合的かつ計画的に推進するとともに、地域における食育推進を図るもの。	中学校給食モデル事業を実施するとともに、アルマイト食器に替えてPEN食器を一斉導入するなど、学校給食のさらなる改善を進める。
指標	-	-
初期値 (計画策定時)	-	-
目標値	-	-
21年度 実績値	-	-
達成状況 (17～21年度)	-	-
21年度 実施状況等	<p>■「北九州市食育推進計画」策定</p> <p>■計画に基づき、市の食育推進体制として、関係部局の連携体制を目的とした「食育庁内推進会議」を、市の施策に対する意見聴取を目的とした「北九州市食育推進懇話会」を設置した。また市民運動としての食育推進体制を目的とした「北九州市食育推進ネットワーク」を立ち上げた。</p> <p>食育庁内推進会議:1回開催 北九州市食育推進懇話会:2回開催 北九州市食育推進ネットワーク 登録会員:41団体、8個人 情報交換会:3回開催</p> <p>■食育に関するイベント・研修会実績 15回、延べ参加人数45,145人</p> <p>■食育に関する出前講演実績 201回、延べ参加人数6,932人</p>	<p>■20年1月9日からPEN食器を102校一斉に使用開始。</p> <p>■中学校完全給食について、モデル事業の検証を経て、平成20年12月、平成21年度から親子方式により段階的に導入する方針を決定。 平成22年4月から16校で実施するために必要な環境整備を行った。</p>
「元気発進！子どもプラン」における位置づけ	政策分野2-(1) 母子保健	-
「元気発進！子どもプラン」における事業名	「食育推進ネットワーク」の構築	教育プラン 「学校給食による食育の推進」に統合
備考 (特記事項)		
担当(課)	保健福祉局・健康推進課、子ども家庭局・保育課 産業経済局・地産地消推進課、教育委員会・企画課	教育委員会・学校保健課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 子どもの健康と体力づくり

事業番号	382	383
事業名	中学校教室暖房設置	体力アップ推進事業
事業概要	冬季の特に寒い日に限り、すべての中学校の普通教室において、教室暖房を実施する。	日常生活で体を動かす機会が減少する中、本市の小・中学校における新体力テストの結果は、依然として多くの項目で全国平均を下回っている状況である。こうした課題を受け、子どもの体力向上を図るため、各幼稚園・学校において、それぞれの実態に応じて体力づくりや生活習慣の改善に向けた取組を推進する。
指標	-	体育の授業以外で継続的な取り組みをしている学校
初期値 (計画策定時)	-	20年度:小学校37.7%、中学校14.3%
目標値	-	25年度までに小学校100%、中学校100%で取り組む
21年度 実績値	-	小学校36.4%、中学校16.7%
達成状況 (17~21年度)	-	20年度:小学校37.7%、中学校14.3% 21年度:小学校36.4%、中学校16.7%
21年度 実施状況等	<ul style="list-style-type: none"> ■平成20年度事業終了 ■平成20年度:全市立中学校で実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ■全小・中・特別支援学校、幼稚園で体力アップを推進 ■「北九州市キッズダンス」を全小学校へ周知 ■部活動外部講師215名(H22.3.31現在)
「元気発進！子どもプラン」における位置づけ	-	-
「元気発進！子どもプラン」における事業名	-	教育プラン 体力アップ推進事業
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・学校保健課	教育委員会・指導第一課、指導第二課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 子どもの健康と体力づくり

事業番号	384
事業名	小学生ふうせんバレーボール大会
事業概要	障害のある小学生と障害のない小学生で構成されたチームによる「ふうせんバレーボール大会」を開催し、障害児の社会参加の促進及び心のバリアフリーの推進を図る。
指標	—
初期値 (計画策定時)	—
目標値	—
21年度 実績値	—
達成状況 (17～21年度)	—
21年度 実施状況等	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1月24日(日)大会開催。 ■ 13児童館(18チーム)小学生等約443名参加
「元気発進！子どもプラン」における位置づけ	政策分野4-(4) 障害のある子どもへの支援
「元気発進！子どもプラン」における事業名	小学生ふうせんバレーボール大会
備考 (特記事項)	
担当(課)	保健福祉局・障害福祉課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 子どもの居場所づくり

事業番号	302	303
事業名	学校施設開放事業	地域子ども教室推進事業
事業概要	地域スポーツの普及及び児童の安全な遊び場を確保するため、学校教育に支障のない範囲で小・中学校の体育施設を市民に開放する。	市民センター、学校等を活用して、地域の大人を指導員として配置し、子どもたちの主に放課後における体験活動や交流活動を支援する(～H18)。
指標	学校体育施設の開放率	—
初期値 (計画策定時)	16年度:約96%	—
目標値	21年度までに開放率100%	—
21年度 実績値	97.92%	—
達成状況 (17～21年度)	平成21年度:97.92%	—
21年度 実施状況等	<p>■遊び場開放:128校 ■スポーツ開放:183校 で実施。</p>	<p>■平成18年度事業終了。</p> <p>【参考】 平成18年度33箇所実施</p>
「元気発進！子どもプラン」における位置づけ	政策分野3-(2) 青少年の健全育成	—
「元気発進！子どもプラン」における事業名	学校開放事業	—
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・生涯学習課、施設課	教育委員会・生涯学習課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 子どもの居場所づくり

事業番号	304	305
事業名	余裕教室の他施設への転活用の推進	子どもの館運営
事業概要	地域に密着した学校づくりを推進するため、転用可能な教室等、学校施設の活用を図り、開かれた学校づくりや地域社会との連携強化を図る。	天候に左右されることなく利用できる施設であり、遊び・体験・世代や地域を越えた交流などを通じて、子どもの豊かな感性や新しい感覚を育み、かつ子育て中の世代に対してその支援を行う。
指標	-	-
初期値 (計画策定時)	-	-
目標値	-	-
21年度 実績値	-	-
達成状況 (17～21年度)	-	-
21年度 実施状況等	<ul style="list-style-type: none"> ■平成21年度放課後児童クラブ設置 ■折尾東小学校 <p>【参考】放課後児童クラブ開設数 2校(平成17年度～21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■平成17年度:小森江西小学校に開設 ■平成18・19年度:開設なし ■平成21年度:折尾東小学校 	<ul style="list-style-type: none"> ■平成21年度入館者数:556,195人 ■夏休み特別展「ナツカシあそび展」と「飛び出す絵本展」を同時開催 ・開催期間:平成21年7月18日～9月1日 ・開催期間中入館者:103,135人
「元気発進!子どもプラン」における位置づけ	-	政策分野2-(3) 子育ての悩みや不安への対応
「元気発進!子どもプラン」における事業名	-	「子どもの館」・「子育てふれあい交流プラザ」の運営
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・施設課	子ども家庭局・子ども家庭政策課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 子どもの居場所づくり

事業番号	306	307
事業名	日中一時支援事業	青少年団体育成補助金
事業概要	障害児(者)の日中における活動の場を確保し、障害者(児)の家族の就労支援及び家族の介護負担の軽減を目的に、障害児が放課後の時間を安全に過ごすとともに、様々な活動を通じて日常生活の基本動作や余暇活動の習得、社会的行動の形成を促進できるよう機会を提供する。	青少年の自主活動や育成活動の活性化を図り、青少年の健全育成・非行防止活動を促進するため、子ども会連合会やボーイスカウト団体などに対し事業補助する。
指標	-	-
初期値 (計画策定時)	-	-
目標値	-	-
21年度実績値	-	-
達成状況 (17～21年度)	-	-
21年度実施状況等	<p>【放課後対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■年間延利用人数:5,455人 ■年間延利用回数:47,214回 <p>【日帰りショート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■年間延利用人数:2,124人 ■年間延利用回数:7,543回 <p>※平成18年10月より、No.336「心身障害児(者)短期入所事業」のうち日帰りショート分を「日中一時支援事業日帰りショート」とし、平成19年度より、No.306「障害児の放課後対策事業」とNo.338「障害児放課後サポートクラブ」を「日中一時支援事業放課後対策」として統合。</p>	<p>■助成団体及び補助金額(決算額)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北九州市子ども会連合会: 3,000千円 ・日本ボーイスカウト福岡県連盟 北九州東地区協議会 550千円 ・日本ボーイスカウト福岡県連盟 北九州西地区協議会 550千円 ・ガールスカウト福岡県支部北九州地区:300千円 ・海洋少年団(門司・洞海): 400千円 ・北九州市青少年団体連絡協議会: 600千円 ・北九州地区(市)少年補導員連絡協議会:1,000千円 ・校区青少年育成会協議会: 664千円 <p style="text-align: right;">(合計) 7,064千円</p>
「元気発進!子どもプラン」における位置づけ	政策分野3-(2) 青少年の健全育成	政策分野3-(2) 青少年の健全育成
「元気発進!子どもプラン」における事業名	日中一時支援事業(放課後対策)の充実	青少年団体育成補助金
備考 (特記事項)	平成19年度よりNo.338「障害児放課後サポートクラブ事業」を統合	
担当(課)	保健福祉局・障害福祉課	子ども家庭局・青少年課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 子どもの居場所づくり

事業番号	369
事業名	中高生の居場所づくり
事業概要	夜宮青少年センターの機能を強化し、中高生が学習やスポーツ、文化活動、仲間との懇談など気軽に行えるようにし、中高生の多様な活動や交流を促進し、健やかに成長していく環境づくりを推進するとともに、事業成果の充実を図る。
指標	—
初期値 (計画策定時)	—
目標値	—
21年度 実績値	—
達成状況 (17～21年度)	—
21年度 実施状況等	<p>■「夜宮中高生クラブ」 利用会員制で、週3日 (火曜、木曜、金曜の16時～19時)、 夜宮青少年センターのスポーツホール、談話室、音楽室を 無料で開放している。 平成21年度の会員数は9名(高校生)。 利用日数は115日。</p>
「元気発進！子どもプラン」における位置づけ	政策分野3-(2) 青少年の健全育成
「元気発進！子どもプラン」における事業名	中高生の居場所づくりの推進
備考 (特記事項)	
担当(課)	子ども家庭局・青少年課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 保育所・幼稚園の就学前教育の充実

事業番号	308	309
事業名	創意工夫を生かした教育の推進(幼稚園)	「お父さん先生課外保育」の実施(幼稚園)
事業概要	<p>集団生活や多様な体験活動等を通して、園児の豊かな感性を育て、自立と協同の態度及び社会のルールを守ることなどの道徳性の芽生えを培う教育を推進する。</p>	<p>父親や地域のボランティア等の参加を得て、長期休業期間や土・日に、通常の保育では得られない体験活動を通して、園児の豊かな心をはぐくむとともに、父親の子育ての機会を創出する。</p>
指標	-	実施幼稚園数
初期値 (計画策定時)	-	-
目標値	-	21年度までに80園で実施
21年度実績値	-	67園(公立4園、私立63園)
達成状況 (17~21年度)	-	67園実施(公立4園、私立63園)
21年度実施状況等	<p>■各園における山登り、川遊び等の自然体験、祭り参加、日舞体験等の特色ある教育の実践や、地域との連携による年長者、小中学生との異世代交流の実施。</p>	<p>【公立幼稚園】 ■「おやじの会」4園で実施。園行事に「お父さん先生」の協力、「ようちえんまつり」の遊び場計画・実施</p> <p>【私立幼稚園】 ■餅つきなど園独自の活動として父親との交流を63園で実施。</p>
「元気発進！子どもプラン」における位置づけ	-	-
「元気発進！子どもプラン」における事業名	教育プラン 「幼児教育の振興・子育て支援機能の充実」に統合	教育プラン 「幼児教育の振興・子育て支援機能の充実」に統合
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・企画課、指導第一課	教育委員会・企画課、指導第一課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 保育所・幼稚園の就学前教育の充実

事業番号	310	311
事業名	公立幼稚園のあり方の検討	自己点検・自己評価の実施(幼稚園)
事業概要	公立幼稚園は、幼稚園における本市幼児教育の先導的な役割を担うため、幼年期における生活や学習の基盤について、実践を通して幼児教育のモデルを提示するとともに、子育て支援や障害児保育の充実等に向けた検討を行う。	教員の資質向上を図り、よりよい教育活動を展開するために自己点検・自己評価を実施し、幼児教育の中核として真に、家庭・地域社会から信頼される、開かれた幼稚園を目指す。
指標	-	実施幼稚園数
初期値 (計画策定時)	-	16年度:8園(公立)
目標値	-	21年度までに80園で実施
21年度 実績値	-	65園(公立8園、私立57園)
達成状況 (17~21年度)	-	65園実施(公立8園、私立57園)
21年度 実施状況等	<p>■教育委員会内に、公立幼稚園が果たすべき役割等、公立幼稚園の在り方について検討するワーキング会議を設置し、検討を行った。</p>	<p>【公立幼稚園】 ■100%実施。</p> <p>【私立幼稚園】 ■57園で実施。</p>
「元気発進！子どもプラン」における位置づけ	政策分野3-(1) 就学前児童	政策分野3-(1) 就学前児童
「元気発進！子どもプラン」における事業名	新しい時代に対応した公立幼稚園における教育の推進	私立幼稚園における学校評価の実施
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・企画課、指導第一課	教育委員会・企画課、指導第一課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 保育所・幼稚園の就学前教育の充実

事業番号	312	313
事業名	外部評価の導入(幼稚園)	研修内容の充実(幼稚園)
事業概要	保護者や地域住民などの信頼に応え、家庭や地域と連携協力して一体となって子どもたちの健やかな成長を図っていくため、幼稚園において、外部評価を導入する。	教員としての専門性や資質向上、指導力向上を図るため、研修内容の充実と多様な研修機会の提供を促進する。また、北九州市社会福祉研修所等を活用した幼稚園教員、保育士との合同研修を実施する。
指標	実施幼稚園数	—
初期値 (計画策定時)	—	—
目標値	21年度までに58園で実施	—
21年度実績値	37園(公立8園、私立29園)	—
達成状況 (17～21年度)	37園実施(公立8園、私立29園)	—
21年度実施状況等	<p>【公立幼稚園】</p> <p>■保護者アンケート結果の公表:100%実施。</p> <p>【私立幼稚園】</p> <p>■各園独自に29園で実施。</p>	<p>■幼稚園教諭研修を12講座25研修実施。</p> <p>・受講者数:855人</p> <p>■幼稚園教諭・保育士との合同研修を実施。</p> <p>・カウンセリング研修:19人</p> <p>・統合保育研修:19人</p> <p>■私幼連主催による研修の実施により、研修内容を充実。</p>
「元気発進!子どもプラン」における位置づけ	—	—
「元気発進!子どもプラン」における事業名	教育プラン 「私立幼稚園における学校評価の実施」に統合	教育プラン 「幼児教育の振興・子育て支援機能の充実」に統合
備考 (特記事項)		
担当(課)	教育委員会・企画課、指導第一課	教育委員会・企画課、教育センター、教職員課

健全育成 【(9)子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり】

基本施策/ 保育所・幼稚園の就学前教育の充実

事業番号	314
事業名	私立幼稚園研修代替教員の活用
事業概要	私立幼稚園の教員が研修に参加しやすい環境をつくり、教員の資質の向上や幼児教育の振興を図るため、教員が研修に参加した場合に、代替の教員を活用する研修代替制度を実施する。
指標	研修日数
初期値 (計画策定時)	—
目標値	21年度までに10日研修を実施
21年度 実績値	平均7日(実施園数9園)
達成状況 (17～21年度)	H17年度:平均5日、H18年度:平均5日、H19年度:平均3日、 H20年度:平均9日、H21年度:平均5日
21年度 実施状況等	■9園で制度を活用。
「元気発進！子どもプラン」における位置づけ	—
「元気発進！子どもプラン」における事業名	教育プラン 「幼児教育の振興・子育て支援機能の充実」に統合
備考 (特記事項)	
担当(課)	教育委員会・企画課